FUNAI / fire tv

# 4K液晶テレビ
# F340シリーズ

地上・BS・110度CSデジタル
## ハイビジョン液晶テレビ
# F140シリーズ

## 取扱説明書

**よりくわしい説明については・・・**

**EM 電子マニュアルでご覧ください**

取扱説明書(本書)よりもくわしい情報を、パソコン／スマートフォンなどでご確認いただけます。

funai.jp/tv/common/manual/f340-f140/


はじめに 2
接続する 20
視聴する 31
録画する 36
再生する 44
消去する 47
各種設定 48
さまざまな情報 50
English guide 60


型番
FL-55UF340
FL-50UF340
FL-43UF340
FL-32HF140

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
G-GUIDE

# もくじ

## はじめに


もくじ ....2
- 本書について ....3
- 本書で使用するマークの意味 ....3

安全のために必ずお守りください ....4
ご使用上のお願い ....8
ご使用の前に ....13
- 取扱説明書の種類について ....13

各部のなまえとはたらき ....14
- 本機前面／側面／背面 ....14
- リモコン ....16

ACASについて ....18
- ACAS番号を確認する ....18

miniB-CASカードについて ....19
- miniB-CAS情報を確認する ....19


## 接続する


アンテナや外部機器をつなぐ ....20
- HDMI-CEC対応機器を操作する ....24

ネットワークをつなぐ ....27
- LANケーブルを使ってつなぐ ....27
- 無線LANを使ってつなぐ ....27

無線LANやBluetooth®を使う際のお願い ....29


## 視聴する


ホーム画面について ....31
動画配信サービスを楽しむ ....32
デジタル放送でできること ....32
- 画面表示を確認する ....32
- オプションメニューを使う ....33

デジタル放送について ....34
番組表（Gガイド）でできること ....35
- 番組表について ....35


## 録画する


録画の前に ....36
- 録画するメディアについて ....36

放送中の番組を録画する ....37
- 録画する ....37
- 録画を停止する ....37

番組表から一発予約で録画予約する ....38
録画予約を確認・変更・消去する ....39
- 設定済みの録画予約を確認する ....39
- 設定済みの録画予約の内容を変更する ....39
- 番組表から録画予約の内容を変更する ....41
- 録画予約スキップ（毎週／毎日録画を一時停止する） ....41
- 不要な録画予約を消去する ....41

録画についての補足説明 ....42


## 再生する


録画した番組を再生する ....44
- 録画一覧（録画した番組の一覧）について ....45

再生するときの操作 ....46
- 速度を変えて再生する ....46
- スキップ・サーチ ....46


## 消去する


録画した番組を消去する ....47
- 録画一覧から不要な番組を消去する ....47


## 各種設定


本機の情報を確認する ....48
ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう ....48
すべての情報を初期化する ....49


## さまざまな情報


仕様 ....50
保証とアフターサービス ....52
症状診断シート ....53
困ったときは ....54
- おかしいな?と思ったときの調べかた ....54

テレビ画面に表示されるメッセージ ....56
著作権などについて ....58
壁掛け金具取り付け時について ....59


## English guide


Name and function of each part ....60
- Front view/side view/rear view ....60
- Remote control ....62

# 本書について

本書は、**F340**シリーズ(FL-55UF340／FL-50UF340／FL-43UF340)および**F140**シリーズ(FL-32HF140)用に作成しています。
シリーズで異なる項目や仕様については、F340シリーズ、F140シリーズを記載しています。

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞき「FL-55UF340」です。
- 「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、マーク、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やフリーワードなどは説明用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

# 本書で使用するマークの意味

| マーク | 説明 |
|---|---|
| ご注意 | 取り扱い上のご注意を記載しています。 |
| お知らせ | 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを 記載しています。 |
| P.1 | 関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。 |
| EM | 関連する内容を「電子マニュアル」に記載しています。<br>FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページ内「取扱説明書」ページから、「電子マニュアル」を参照してください。 |
| ➡ | リモコンの選択ボタン ● などを押して、項目の決定や選択をすること、または次の動作に移行する場合に記載しています。 |

- 説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、「用語の説明」をご覧ください。
  EM 「さまざまな情報」 ➡ 「用語の説明」
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。
- 本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

## 録画メディアを表すマーク

- 本書や本機の操作画面などでは、録画メディアを以下の通り表現しています。

| | |
|---|---|
| USB-HDD | USBハードディスク／外付けハードディスク／外付けHDD |

# 安全のために必ずお守りください

## この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

### ■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの | ⚠注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの |

- 絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

▷ 絵表示の例

| | |
|---|---|
| | ● 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。<br>図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。 |
| | ⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。<br>図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
| | △ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。<br>図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |

▷ 絵表示の意味

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 必ず指示に従い、おこなってください。 | | 絶対に濡れた手で触れないでください。 |
| | 絶対に分解・修理はしないでください。 | | 破裂に注意してください。 |
| | 絶対に濡らさないでください。 | | 絶対におこなわないでください。 |
| | 高温に注意してください。 | | 絶対に水場では使用しないでください。 |
| | 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 | | 注意してください。 |
| | 絶対に触れないでください。 | | |

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示
使用上のご注意
- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　群馬県高崎市栄町1番1号　株式会社ヤマダホールディングス

### ■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

# ⚠警告

## ■ ご使用になるとき

**本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない**
- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。

禁止

**本機の上に水などの入った容器や金属物、火のついたろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）**
- こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。
- 裸火が倒れた場合は、火災の原因となります。

禁止

**本機を水でぬらさない**
**水滴のかかる場所に置かない**
- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

水濡れ禁止
水場での使用禁止

**本機を改造または分解しない**
- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

改造・分解禁止

**アンテナは送配電線から離れた場所に設置する**
- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。

指示

**本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない**
- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

禁止

F140シリーズ
**miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない**
- miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

放置禁止

## ■ 乾電池の取り扱い

**乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしているものは使用しない**
- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

禁止

**乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない**
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

**電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。**

**本機を指定（表示）された電源電圧（交流100 V）以外で使用しない**
- 指定（表示）以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているか、もう一度確かめてください。

禁止

**電源プラグのほこりなどはとる**
- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布で拭いてください。

ほこりをとる

**雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない**
- 落雷すると感電することがあります。

接触禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない**
- 水は電気を通すため、感電の原因となる恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

ぬれ手禁止

**電源コードを正しく使用する**
- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れて発熱し、焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

指示

**電源コードを傷つけない**
- 破損させない
- 加熱しない
- 引っぱらない
- 加工しない
- 切断しない
- ねじらない
- 曲げない
- 重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

**電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる**
- 発火の原因となります。

指示

**電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない**
- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

禁止

**本機の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない**
- 火災・感電の原因となります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

**電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ（こたつの中やサウナなど）で使用しない**
- 感電・火災の原因となります。

禁止

**電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない**
- 感電の原因となります。

禁止



次ページへつづく

**電源コードを動かすと電源がオンになったりオフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない**

禁止

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

**本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## ■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

**本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

**本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く**

使用中止

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

**画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

**電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

# ⚠注意

## ■ 設置・移動するとき

**本機の開梱、スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する(3人以上を推奨)**

注意

- 本機にスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因となったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

**海水や塩害に注意**

塩害注意

- 海辺にお住まいの方は、窓からの海水や塩害に注意してください。

**本機を車の中で使用しない自動車内に放置しない**

使用禁止

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。

**本機を次のような場所に置かない**

設置禁止

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

**本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない**

禁止

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**本機の通風孔をふさがない**

禁止

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因となります。

**本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない**

禁止

- 故障の原因となることがあります。

**本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする**

指示

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

**アンテナ工事は専門業者にお願いする**

指示

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

**安定した場所に設置する**

正しく設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

# ⚠注意

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

**お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く**

- 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく**

- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす**

- そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

**電源コードを引っ張らない**

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

**電源コードを引き回さない**

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。

禁止

**電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない**

- 発煙・発火の原因となります。

禁止

**電源コードを熱器具に近付けないように注意**

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

高温注意

## ■ ご使用になるとき

**年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する**

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

掃除

**液晶パネルの破損**

- 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

禁止

## ■ 乾電池の取り扱い

**乾電池は正しく挿入する**

- プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

正しく入れる

**指定されていない乾電池を使用しない**

- 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

使用禁止

**新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない**

- 破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

使用禁止

**乾電池の取り扱いに注意**

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

- 破裂する危険があります。

禁止

破裂注意

# ご使用上のお願い

## ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

### 置き場所や取り扱い

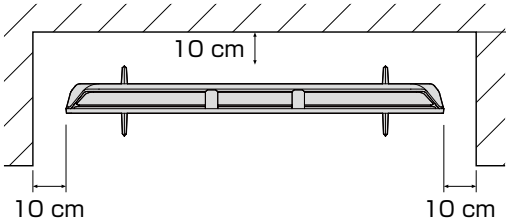
- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器(USBハードディスクなど)を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(VHF:90 MHz～222 MHz、UHF:470 MHz～770 MHz、BS:1032 MHz～1336 MHz、CS:1595 MHz～2071 MHz、BS4K:2224 MHz～2681 MHz、110度CS4K:2748 MHz～3224 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話、電子レンジ、WiFiルーターなどの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源をオフにしておいてください。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

### 液晶パネルについて

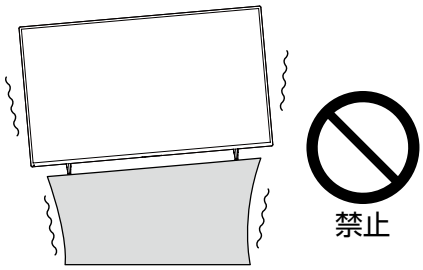
- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。(液晶パネルは素手で触らないようにしてください。)
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因となります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

## 本機の設置についてのお願い

■ 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
■ 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。湿気の多い場所、加湿器の近くには置かないでください。故障の原因となります。
■ スタンドを取り付けて設置する際には、最低限、下図のスペースを設けてください。




■ 不安定な場所に置かないでください。台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。




ご注意
● 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置を避けてください。
● 本機の下へ物をはさまないでください。



次ページへつづく

# ご使用上のお願い(つづき)

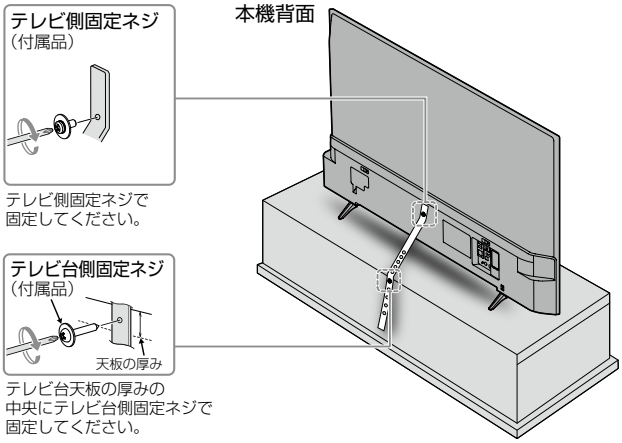
## 転倒防止についてのお願い

**⚠注意**

**衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因となることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。**

### テレビ台や家具などへの固定（F340シリーズのみ）

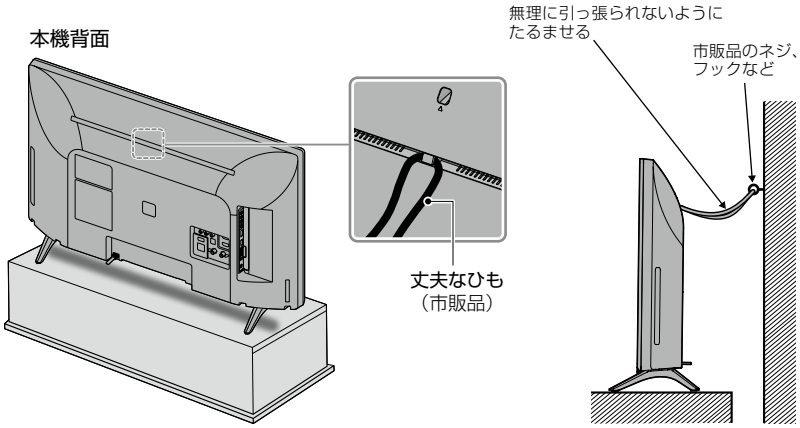
お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをテレビ側固定ネジで本機に取り付けた後、テレビ台側固定ネジでお使いのテレビ台や家具に固定してください。
また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止バンドで固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。




ご注意
- 本機を再び移動させるときは、ネジをはずしてから移動させてください。
- ネジの取り付けは確実におこなってください。

## 壁や柱などの安定した場所への固定

下図の通り、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。




ご注意
- 本機を再び移動させるときは、ネジをはずしてから移動させてください。
- ネジの取り付けは確実におこなってください。

## miniB-CASカードについて（F140シリーズのみ）

■ 付属のminiB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンター P. 19 へご連絡ください。なお、お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

**本機に付属しているminiB-CAS（ビーキャス）カード以外のものを挿入しないでください**

miniB-CASカード挿入口には、正規のminiB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損したりすることがあります。

ご注意
- F340シリーズにはACASチップが内蔵されているため、miniB-CASカードは同梱していません。

# ご使用上のお願い(つづき)

## アンテナについて

■ 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされている場合は、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

**天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります**

衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送がおこなわれている場合)降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

## リモコンについて

**「アルカリ乾電池ご使用時の注意」**

アルカリ乾電池をご使用の際は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆がはがれている場合)に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどをする危険があります。

■ 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。
■ 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
■ 乾電池はアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5 V 2本)をお使いください。
■ 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
■ 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
■ 以下の場合は、操作結果が確認できるように本機が見える位置から操作してください。
- 本機のリモコン操作をする場合
- Wake-on-LANに対応した機器から本機を操作する場合
- 本機に対応したアプリで操作をする場合

■ リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたときは乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
(付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換することをおすすめします。)

## お手入れについて

■ キャビネットや液晶パネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
■ 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭き取り、最後にかわいた柔かい布でから拭きしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書きをよくお読みください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

## 修理について

■ **本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。P.52

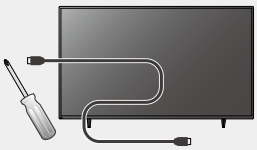
# ご使用の前に

## 取扱説明書の種類について

本機の説明は、内容によって**取扱説明書**(本書)と**電子マニュアル**(FUNAI製品情報サイトに掲載)に分けて記載しています。
必要な情報にあわせて、**取扱説明書**または**電子マニュアル**をご覧ください。

### 取扱説明書(本書)に記載している主な内容

- 安全上のご注意
- 設置、接続について
- 基本的な操作の説明



※その他、本機をお使いになる前にご覧いただきたい情報などを記載しています。
※電子マニュアルによりくわしい説明が記載されている内容について、取扱説明書(本書)では EM を記載しています。

### 電子マニュアルに記載している主な内容

- 機能の説明
- くわしい操作の説明
- 詳細な設定について
- 困ったときは

※本機の機能を存分にお使いいただくために、取扱説明書(本書)には　記載されていないよりくわしい情報を、パソコン／スマートフォンなどでご確認いただけます。

funai.jp/tv/common/manual/f340-f140/

### さらにくわしい情報は、パソコンやスマートフォンから、FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページをご覧ください。

funai.jp/cs/

- ソフトウェアの更新情報
- 最新の取扱説明書(本書)
- 困ったときは
- よくあるご質問
- 接続確認済み機器
- 壁掛け金具

### サポート動画のご案内

FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページで、接続方法や使いかたをわかりやすく説明したサポート動画をご覧いただけます。

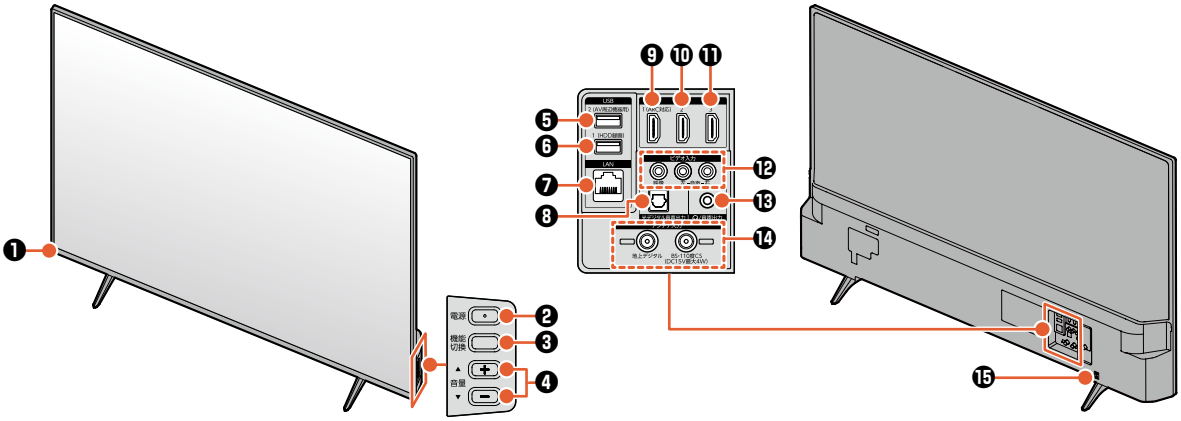
F340シリーズ
funai.jp/cs/supportmovie/#f340

F140シリーズ
funai.jp/cs/supportmovie/#f140

# 各部のなまえとはたらき

## 本機前面／側面／背面

### F340シリーズ




❶ **電源LED／リモコン受光部**
青点灯……本機が電源オンの状態です。
消灯……本機が電源オフの待機状態です。

❷ **電源**

❸ **機能切換**
機能切換メニュー（入力／音量／チャンネル）を表示します。
メニューを表示している状態で押すと、決定の動作をおこないます。

❹ **音量＋／－**
音量を調節します。
機能切換メニューを表示している状態で押すと、項目を移動します。

❺ **USB 2（AV周辺機器用）端子**
USBメモリーなどを接続します。

❻ **USB 1（HDD録画）端子**
USB-HDDを接続します。

❼ **LAN端子**

❽ **光デジタル音声出力端子**

❾ **HDMI 1端子（ARC対応）**

❿ **HDMI 2端子**

⓫ **HDMI 3端子**

⓬ **ビデオ入力端子**

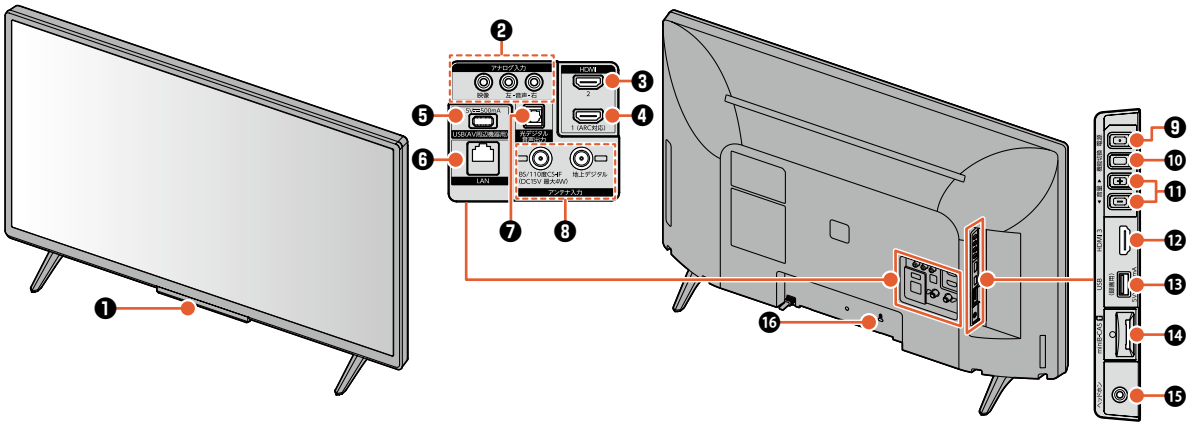
⓭ **ヘッドホン出力端子**

⓮ **地上デジタル、BS･110度CSアンテナ入力端子**
（左）地上デジタル入力
（右）BS･110度CS入力（新4K衛星放送対応）

⓯ **盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。

お知らせ
- 電源ボタンで電源をオフにすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから電源プラグを挿しなおしてみてください。
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。

## F140シリーズ




❶ **電源LED／リモコン受光部**
青点灯……本機が電源オンの状態です。
消灯……本機が電源オフの待機状態です。

❷ **アナログ入力端子**

❸ **HDMI 2端子**

❹ **HDMI 1端子（ARC対応）**

❺ **USB（AV周辺機器用）端子**
USBメモリーなどを接続します。

❻ **LAN 端子**

❼ **光デジタル音声出力端子**

❽ **地上デジタル、BS･110度CSアンテナ入力端子**
（左）BS･110 度CS入力
（右）地上デジタル入力

❾ **電源**

❿ **機能切換**
機能切換メニュー（入力／音量／チャンネル）を表示します。
メニューを表示している状態で押すと、決定の動作をおこないます。

⓫ **音量＋／－**
音量を調節します。
機能切換メニューを表示している状態で押すと、項目を移動します。

⓬ **HDMI 3端子**

⓭ **USB（録画用）端子**
USB-HDDを接続します。

⓮ **miniB-CASカードスロット**
付属のminiB-CASカードを入れます。P.19
miniB-CASカードの入れかたについては、付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

⓯ **ヘッドホン出力端子**

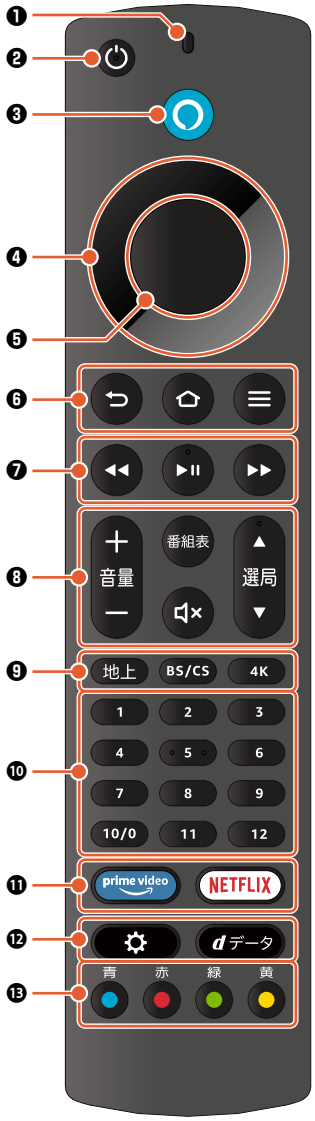
⓰ **盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。

**ご注意**

- 接続は電源プラグを抜いた状態でおこなってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
- **映像**・・・黄、**音声－左**・・・白、**音声－右**・・・赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグ本体を持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本機のUSB端子には、録画用USBハードディスク、AV周辺機器（USBメモリーなど）、USBキーボードやUSBマウス以外の機器を接続しないでください。USBマウスまたはUSBキーボードは、アプリによっては動作しない場合があります。

# リモコン

## F340シリーズ




❶ **マイク**
音声を認識します。

❷ **電源**
電源のオンやオフができます。

❸ **音声認識ボタン**
Alexaに話しかけて音声でコンテンツを検索･再生操作できます。

❹ **ナビゲーション**
上下左右に移動できます。

❺ **選択**
決定がおこなえます。

❻ **戻る**
一つ前の画面に戻ります。

**ホーム** P.31

**メニュー** P.33

❼ **早戻し**

**再生／一時停止** P.44

**早送り**

❽ **音量**
音量を調節できます。

**番組表** P.35

**消音**
音を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

**選局**
視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。

❾ **地上**
地上デジタル放送に切り換えます。

**BS/CS**
押すごとにBSデジタル放送と110度CSデジタル放送を切り換えます。

**4K**
押すごとにBS4K 放送とCS4K放送を切り換えます。

❿ **数字ボタン**
チャンネルを直接選べます。

⓫ **アプリボタン**
各動画配信サービスに直接アクセスできます。

⓬ **設定**
クイック設定を表示します。
EM「はじめに」➡「クイック設定について」

**dデータ**
データ放送に切り換えます。
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「データ放送を見る」

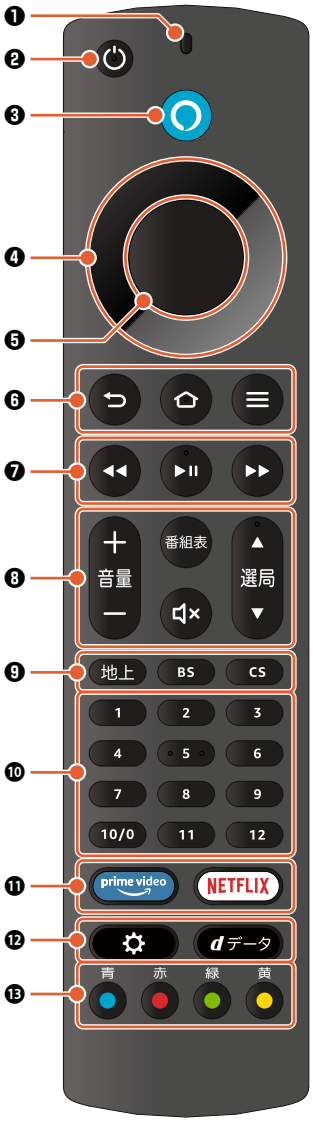
⓭ **カラーボタン（青／赤／緑／黄）**
番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで使用します。

### ▷リモコンの使用範囲（赤外線）について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。
距離･･･本機正面から5 m以内
角度･･･本機正面から上下約15°以内（5 m以内）左右約30°以内（5 m以内）
リモコンをBluetooth® で接続している場合は、使用範囲が異なります。P.30

お知らせ
● ⏻以外で、⌂、動画配信サービスのボタンを押して本機の電源をオンにすることもできます。

## F140シリーズ




❶ **マイク**
音声を認識します。

❷ **電源**
電源のオンやオフができます。

❸ **音声認識ボタン**
Alexaに話しかけて音声でコンテンツを検索･再生操作できます。

❹ **ナビゲーション**
上下左右に移動できます。

❺ **選択**
決定がおこなえます。

❻ **戻る**
一つ前の画面に戻ります。

**ホーム** P.31

**メニュー** P.33

❼ **早戻し**

**再生/一時停止** P.44

**早送り**

❽ **音量**
音量を調節できます。

**番組表** P.35

**消音**
音を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

**選局**
視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。

❾ **地上**
地上デジタル放送に切り換えます。

**BS**
BSデジタル放送に切り換えます

**CS**
110度CSデジタル放送に切り換えます。

❿ **数字ボタン**
チャンネルを直接選べます。

⓫ **アプリボタン**
各動画配信サービスに直接アクセスできます。

⓬ **設定**
クイック設定を表示します。
EM「はじめに」➡「クイック設定について」

**dデータ**
データ放送に切り換えます。
EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「データ放送を見る」

⓭ **カラーボタン(青/赤/緑/黄)**
番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで使用します。

**ご注意**

- リモコンのマイクで音声を認識するにはBluetoothでのペアリングが必要です。
  くわしくは EM「はじめに」➡「各部のなまえとはたらき」➡「リモコン」をご覧ください。
- リモコンが正しく操作できないときは、「おかしいな？と思ったときの調べかた」をご覧ください。P.54
- 乾電池の入れかたについて、くわしくは**はじめるガイド**の「リモコンを準備する」をご覧ください。
- 本機のリモコンで、本機以外のテレビの操作はできません。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- 画面に操作メニューが表示されている場合は、その操作に対応したボタンが有効となります。
  連続して他の操作をおこなう場合は、その操作メニューの表示が消えてから操作してください。

# ACASについて

F340シリーズ

本機は番組の著作権保護のために、ACASチップを内蔵しています。デジタル放送視聴の契約には20桁のACAS番号が必要です。
**本書の「ご購入メモ」の「ACAS番号」に記入しておいてください。** P. 53

## ACAS番号を確認する

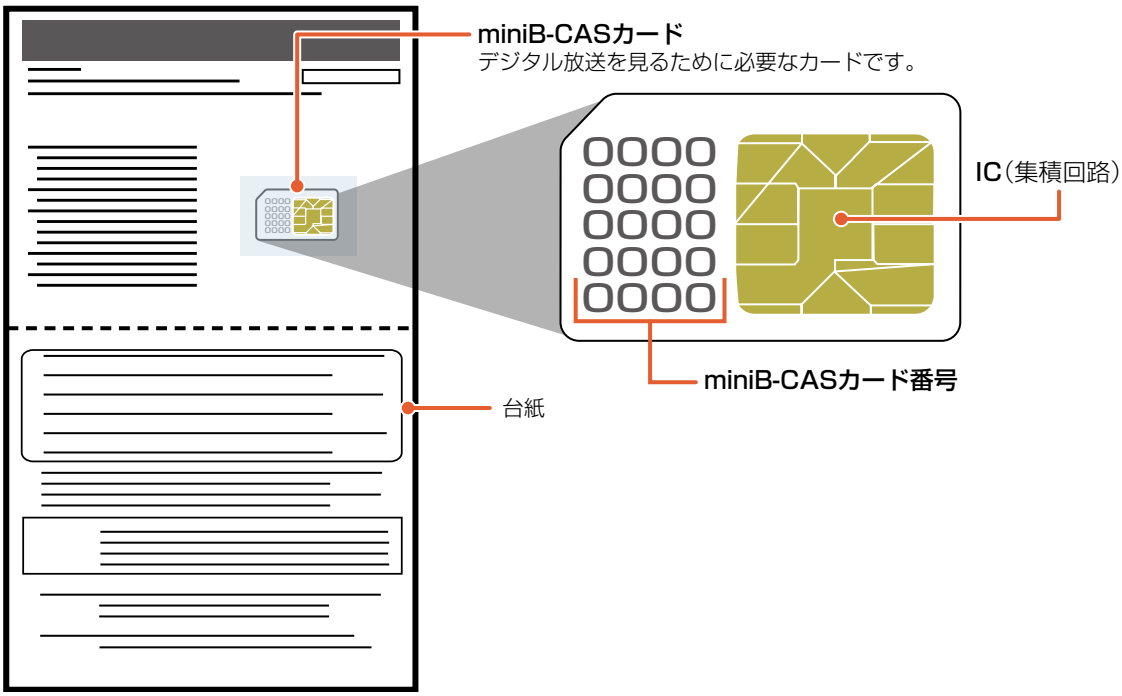
を押して、画面の アイコン ➡ **[ライブTV]** ➡ **[放送オプション]** ➡ **[一般]** ➡ **[ACAS情報]** を選んで選択ボタン を押す

お知らせ
- F340シリーズにはACASチップが内蔵されているため、miniB-CASカードは同梱していません。
- 本機を廃棄や譲渡する場合は、ご契約済みの各デジタル放送に解除または変更の連絡をおこなってください。

# miniB-CASカードについて

F140シリーズ

番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。
**付属のminiB-CASカードのID番号は、カードを本機に挿入する前に、本書の「ご購入メモ」の「miniB-CASカード番号」に記入しておいてください。** P.53




お知らせ
- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている内容をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先
（2021年10月現在）
**（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　　カスタマーセンター**
TEL　0570-000-250
（IP電話からの場合は045-680-2868）
受付時間 10：00～20：00（年中無休）
https://www.b-cas.co.jp/

ご注意
- miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたりしないでください。または分解や加工をしないでください。
- miniB-CASカードに重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- miniB-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面に「miniB-CASカードに関するメッセージ」が表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。また、IC（集積回路）部は手や指で触れないでください。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。

## miniB-CAS情報を確認する

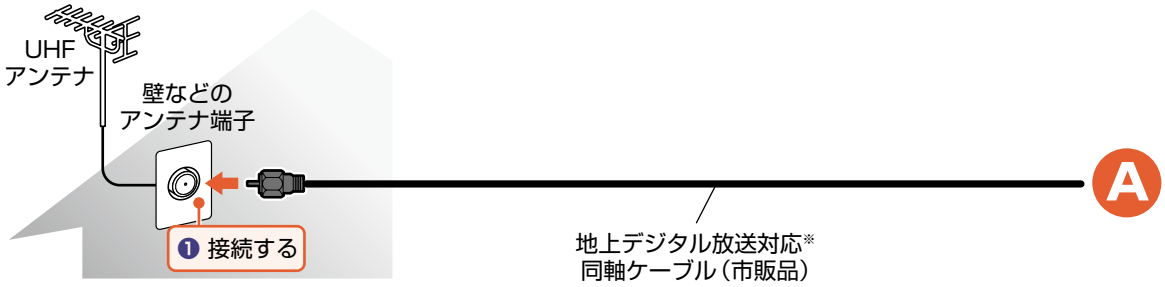
を押して、画面の アイコン ➡ **[ライブTV]** ➡ **[放送オプション]** ➡ **[一般]** ➡ **[miniB-CAS情報]** を選んで選択ボタン を押す

# アンテナや外部機器をつなぐ

■ 本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

## 地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

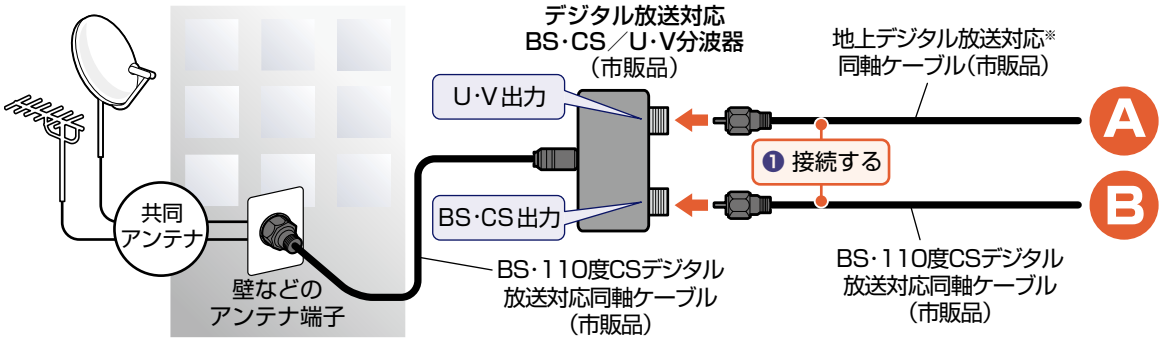



## BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

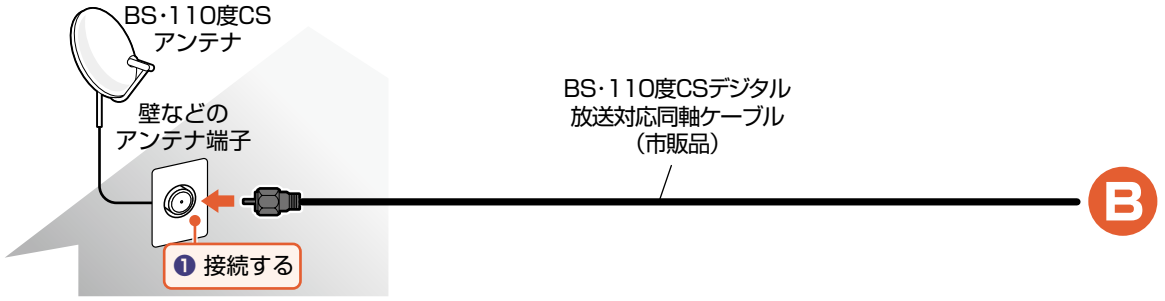
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

### ▷ アンテナ端子が1つのときは

- マンションやアパートなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁などのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。




### ▷ アンテナ端子が別々のときは




※シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

**ご注意**

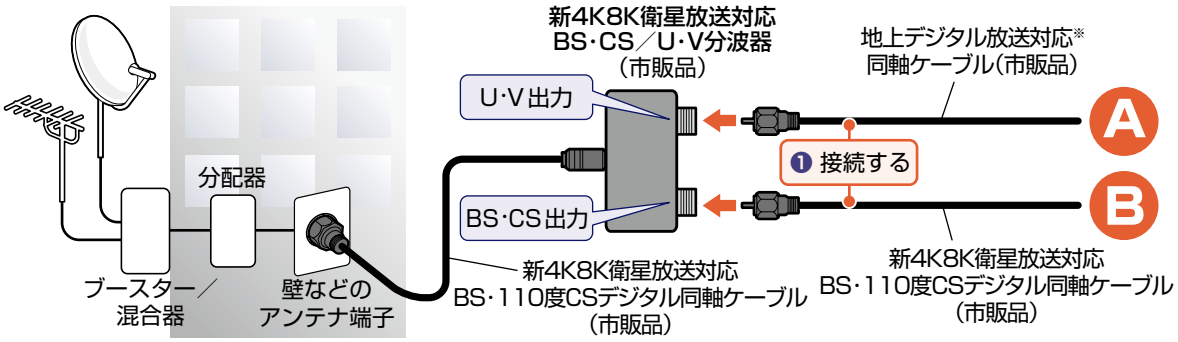
- BSアンテナに電源を供給する場合は、アンテナ電源設定をおこなってください。
  電源設定を正しくおこなわないと、受信ができないことがあります。
  EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」

## BS4K･110度CS4K放送用アンテナ端子をつなぐ（F340シリーズのみ）

すべてのBS4K放送と110度CS4K放送を視聴するためには、右旋･左旋円偏波対応のアンテナ･壁面端子･ブースター･分配器･分波器などが必要です。

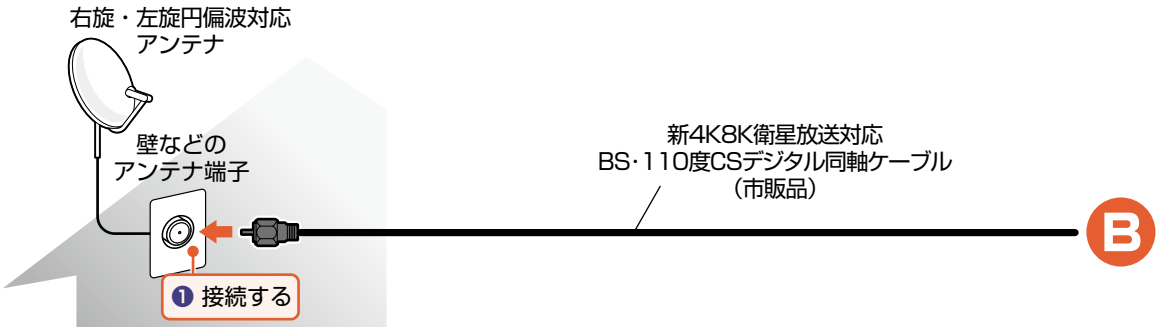
### ▷ アンテナ端子が1つのときは

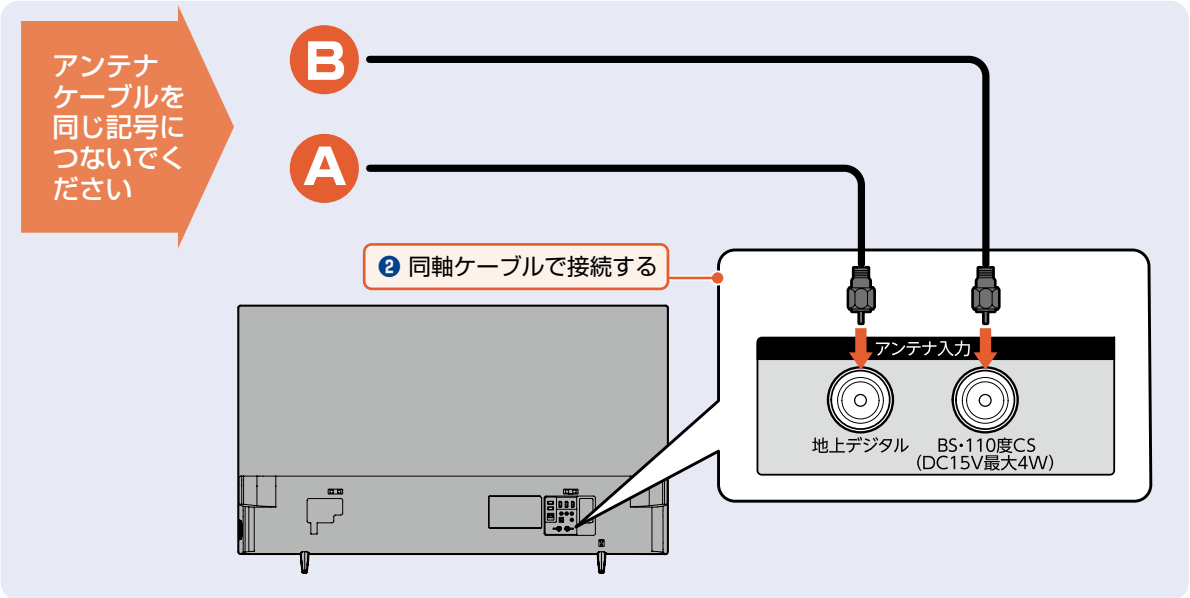
- マンションやアパートなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS4K･110度CS4K放送の信号が混合で出力される壁などのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS4K･110度CS4K放送の信号を分けてください。




※シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

### ▷ アンテナ端子が別々のときは



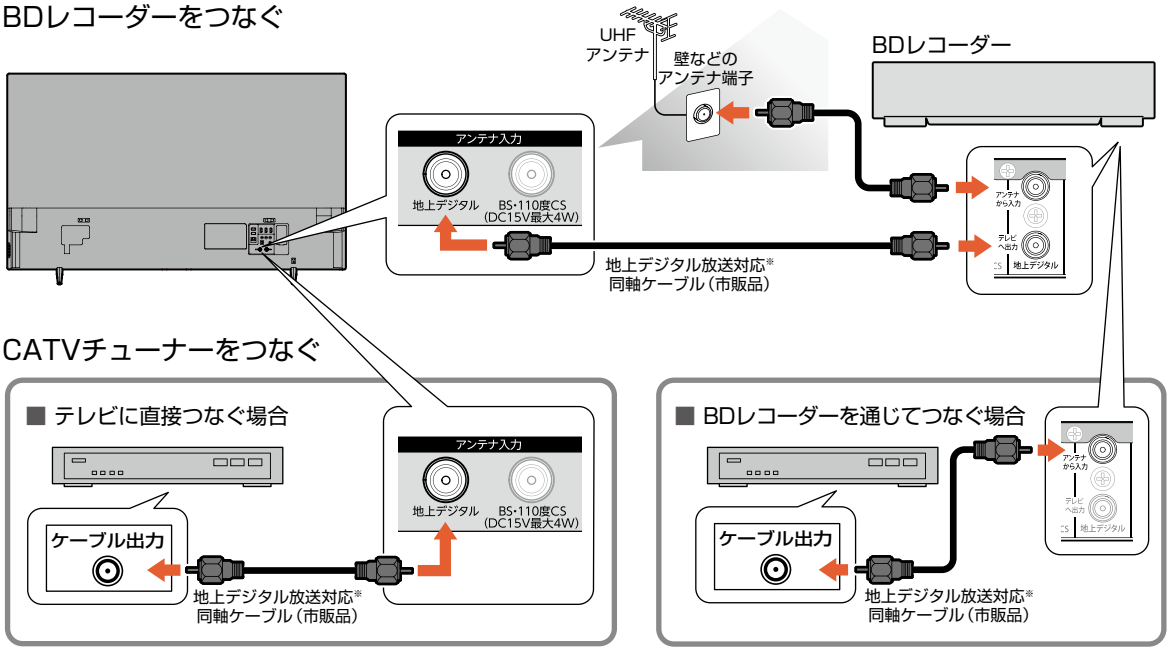



次ページへつづく

# アンテナや外部機器をつなぐ（つづき）

## BDレコーダーまたはCATV（ケーブルテレビ）チューナーをアンテナでつなぐ

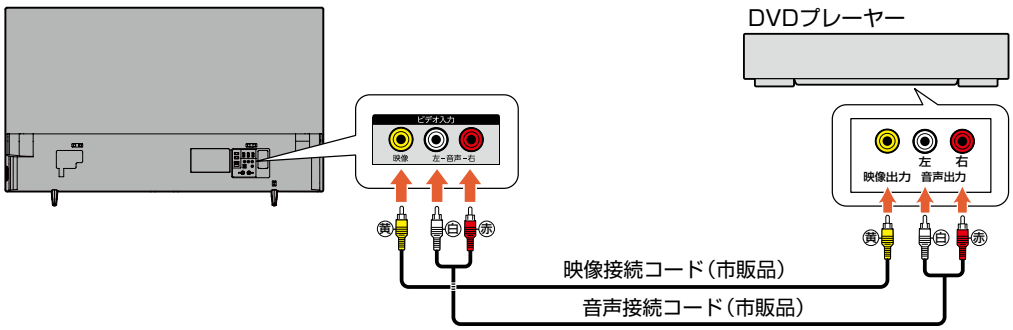
### BDレコーダーをつなぐ




※シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

**ご注意**
- F340シリーズ 本機でBS4K・CS4K放送を視聴する際は、4K放送に非対応のBDレコーダーやCATVチューナーなどを経由して、本機にBS・CSアンテナ線を接続しないでください。本機で4K放送を受信できない場合があります。

## DVDプレーヤーとつなぐ（HDMI出力が無い機器）

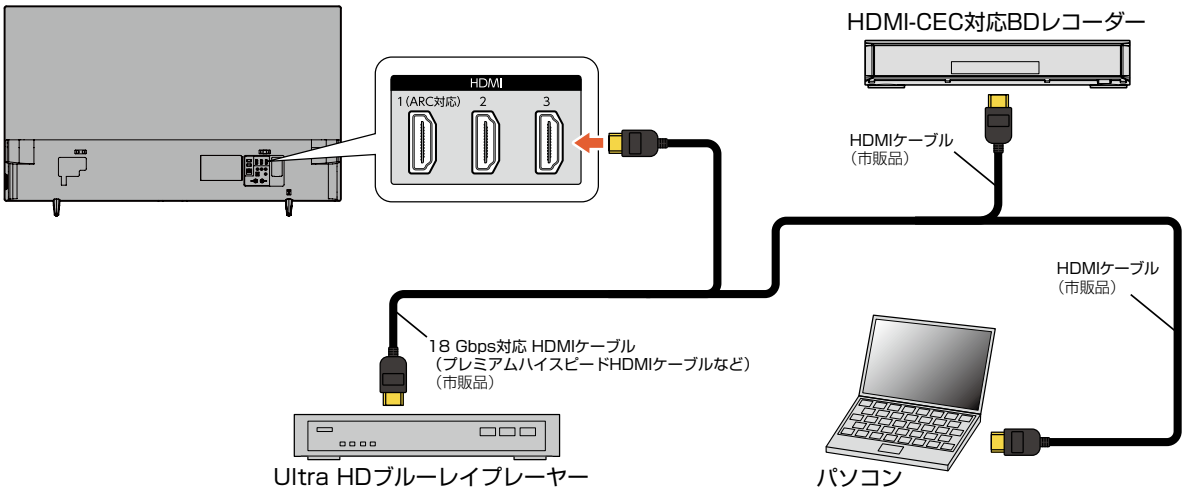



**お知らせ**
- 映像端子との接続では、最適な画面サイズが自動選択されない場合があります。
  この場合は、**[画面サイズ]**でお好みの画面サイズを選んでください。
  EM「各種設定」➡「画面サイズを選ぶ」
- つないだ機器で見るときは、入力切換で**[ビデオ]**を選んでください。

**ご注意**
- DVDプレーヤーの接続について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面サイズの設定を16:9にしてください。
  4:3（レターボックス、パンスキャン）に設定すると適正な画面サイズで見ることができません。

## HDMI機器をつなぐ

BDレコーダーなどの外部機器と本機を接続する場合は、**外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子(1～3)**をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。
また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。(船井電機製のBDレコーダー側では、**[機器制御]**を有効に設定してください。)
HDMI機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC対応機器を操作する」をご覧ください。P.24
例: HDMI-CEC対応BDレコーダーやパソコンをHDMI入力端子に接続する




お知らせ

- 対応している映像信号
  F340シリーズ 480i, 480p, 720p
  1080i, 1080p 24 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz
  2160p 24 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz
  F140シリーズ 480i, 480p, 720p
  1080i, 1080p 24 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz
- 対応している音声信号
  種類:リニアPCM、ドルビーオーディオ
  サンプリング周波数:48 kHz／44.1 kHz／32 kHz
- HDMI機器の映像や音声を楽しむときは、**[入力]**で**[HDMI 1～3]**を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- F340シリーズ HDMI入力が正しく映らない場合は、HDMI入力中に ⚙ ➡ **[画質]** ➡ **[詳細設定]** ➡ **[HDMI入力モード]** ➡ **[HDMI信号フォーマット]**で映像に合った設定にしてください。
  EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI信号フォーマットを設定する」

ご注意

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- F340シリーズ Ultra HDブルーレイプレーヤーなどで4K映像や4K HDR映像を視聴する場合は、18 Gbps対応HDMIケーブル(プレミアムハイスピードHDMIケーブルなど)をご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンと接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



次ページへつづく

# HDMI-CEC対応機器を操作する

HDMI-CECに対応したBDレコーダーやAVアンプを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作（再生など）ができます。HDMI-CEC対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。（仕様は予告なく変更する場合があります。）

### ▷ 本機でHDMI-CEC機能を使うには

本　機…⏻ ➡ 画面の⚙アイコン ➡ **[ディスプレイとサウンド]** ➡ **[HDMI-CECデバイスコントロール]** で各設定を**[オン]**にしておいてください。
くわしくはEM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI-CECを設定する」をご覧ください。

接続機器…接続機器側のHDMI-CEC設定を**[入]**にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

## ARC対応のオーディオ機器とつなぐ

### ▷ ARC（オーディオリターンチャンネル）について

テレビとオーディオ機器（AVアンプ、サウンドバーなど）をHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもオーディオ機器もARCに対応している必要があります。また、本機はHDMI1入力端子のみARCに対応しています。

例：ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプをHDMI1入力端子に接続する

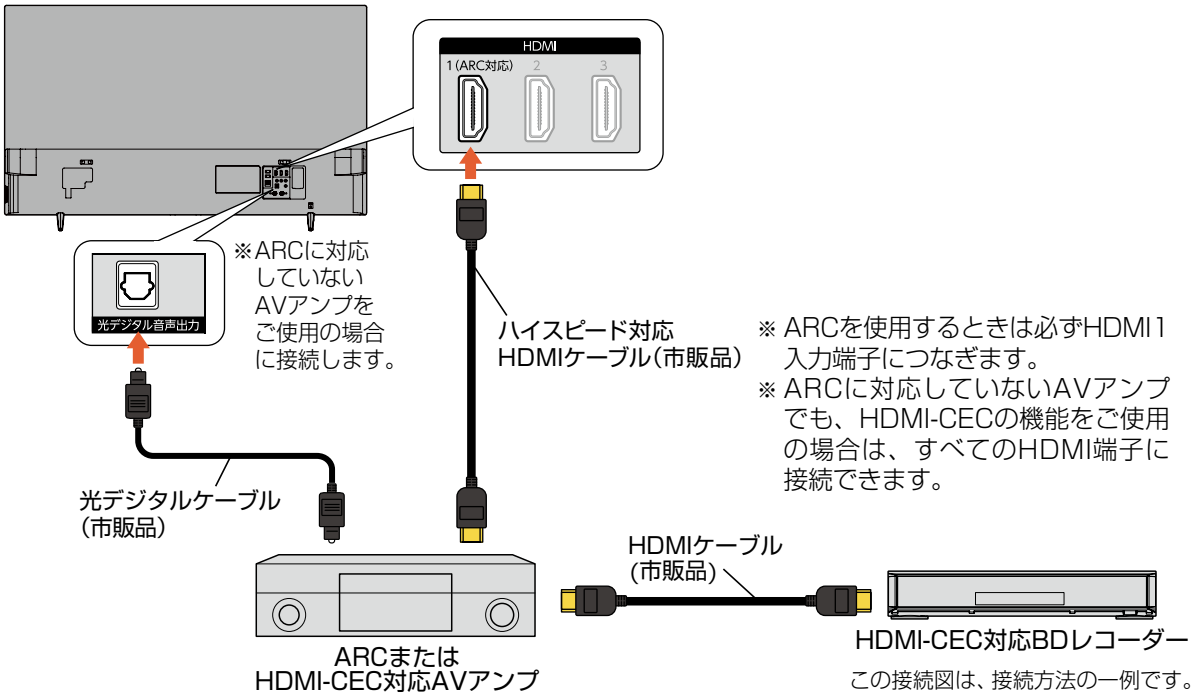
本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。

EM「外部機器を使う」➡「HDMI-CEC対応機器を操作する」➡「HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する」

接続後は、下記の設定をする必要があります。

- **[ARC]**を有効に設定する。

EM「各種設定」➡「接続機器の設定をする」➡「HDMI-CECを設定する」




この接続図は、接続方法の一例です。

**ご注意**

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、BDレコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。また、光デジタル音声出力もAVアンプと接続してください。（ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です。）AVアンプの電源がオンのとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるように設定してください。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源がオフになっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。電源オンやスタンバイモードにしてください。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、**HDMI 1入力端子**につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI-CEC対応AVアンプがPCMしか対応していないときは、**[デジタルオーディオ形式]**を**[PCM]**に設定してください。

EM「各種設定」➡「オーディオ出力を設定する」➡「デジタルオーディオ形式」

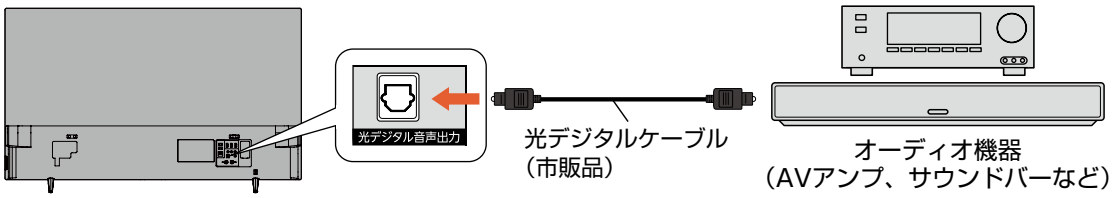


次ページへつづく

## 光デジタル音声入力対応のオーディオ機器との接続

光デジタル音声入力端子を持つオーディオ機器（AVアンプ、サウンドバーなど）を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて**[デジタルオーディオ形式]**の設定が必要です。

EM「各種設定」➡「オーディオ出力を設定する」➡「デジタルオーディオ形式」




お知らせ
- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、光デジタル音声入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulationの略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。

ご注意
- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ずオフにしてください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

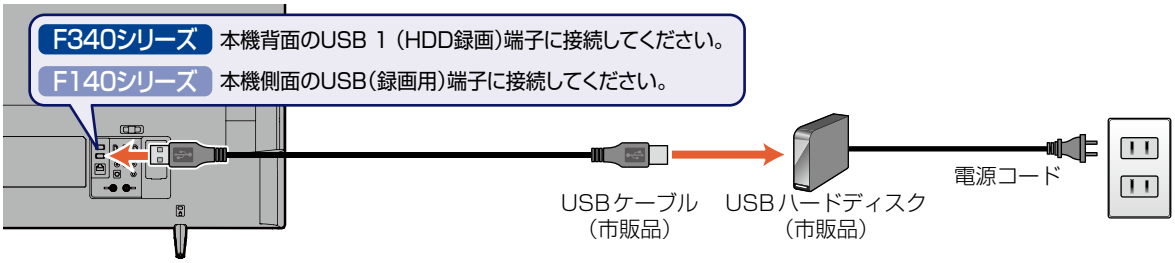
## USBハードディスクをつなぐ

■ バスパワー型のUSBハードディスクは、本機の録画用USB端子※からの電源供給だけでは正しく動作しないことがあります。バスパワー型のUSBハードディスクをご使用の場合は、各USBハードディスクメーカー指定の給電用ACアダプターのご使用を推奨します。（ご使用のUSBハードディスクがACアダプターによる給電に対応していることをご確認ください。）

■ USBハードディスクは必ず以下のUSB端子に接続してください。

F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子　F140シリーズ USB（録画用）端子

■ USBハードディスクが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSBハードディスクの電源をオンにしてください。




**次のようなことはおこなわないでください。**

■ USB機器の動作中に、USBメモリーやUSBハードディスクの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。

■ USB機器の動作中に、USBハードディスクや本機の電源をオフにしない。

USB機器の故障やデータが消失する恐れがあります。

USBハードディスクは、製品に付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

### ▷ 録画用USBハードディスクを接続したあとは

- 本機にUSBハードディスクを録画用として登録してください。
（本機に登録していないUSBハードディスクはお使いになれません。）
⌂➡画面の⚙アイコン➡**[デバイスとソフトウェア]**➡**[USBデバイス]**➡**[USBハードディスク]**➡**[USBハードディスクを登録]**から**[未登録]**のUSBハードディスクを選んで登録してください。

EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクを録画用として登録する」

### ▷ USBハードディスクを取りはずすには

セルフパワー型のUSBハードディスクを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源をオフにしてからUSBハードディスクの電源をオフにして取りはずしてください。

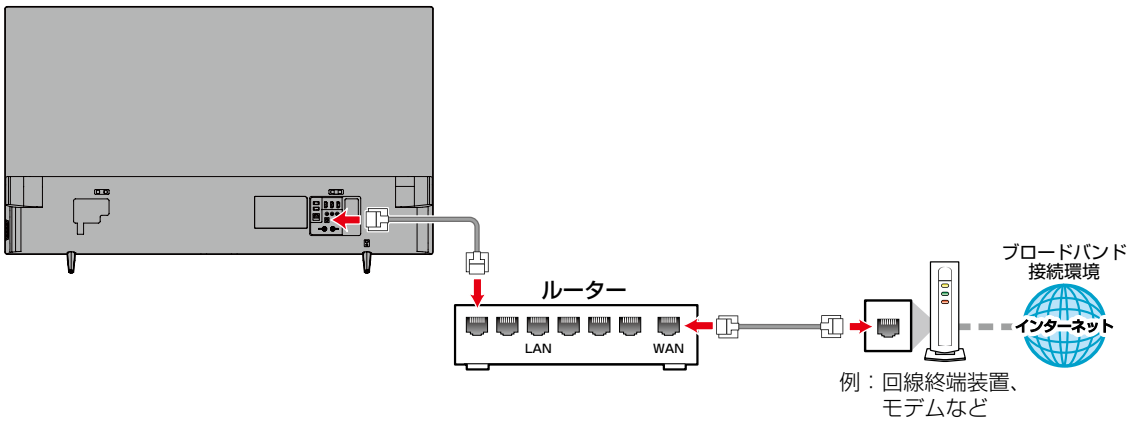
お知らせ
- 録画用USB端子※に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。

※ F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子　F140シリーズ USB（録画用）端子

# ネットワークをつなぐ

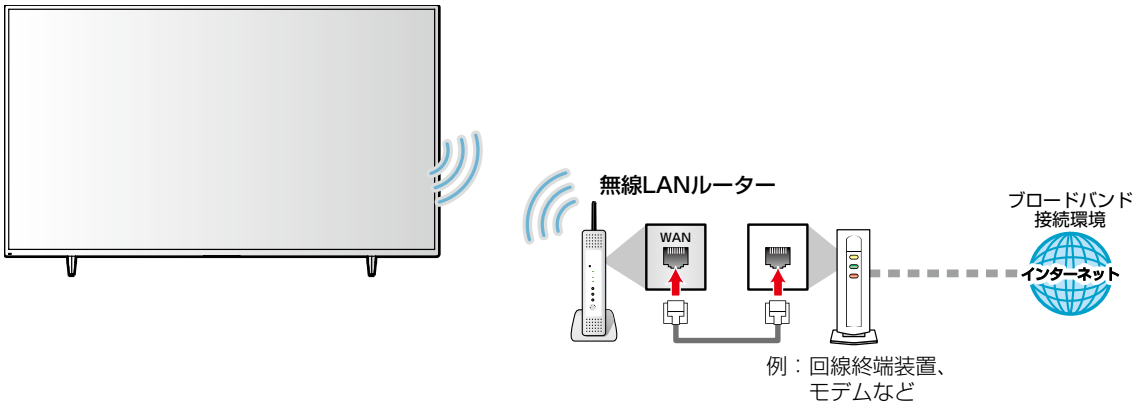
用途やお客様のネットワーク環境によって、接続方法が異なります。
以下を確認しながら正しく接続してください。

## LANケーブルを使ってつなぐ




## 無線LANを使ってつなぐ

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。






次ページへつづく

# ネットワークをつなぐ(つづき)

## ▷ ネットワーク接続環境

- 本機は、公衆無線LAN接続には対応しておりません。
- 通信速度が十分でない場合は、動画配信サービスやホームネットワークの映像が途切れることがあります。

## ▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器に、1000Base-T／100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 使用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- ネットワーク接続の動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報はFUNAI製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。

## ▷ 免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## ▷ すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターなどの設定はできません。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

## ▷ ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者へお問い合わせください。

**ご注意**

- LANケーブルは、カテゴリー5e以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

**お知らせ**

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、⌂ ➡ 画面の⚙アイコン ➡ **[デバイスとソフトウェア]** ➡ **[バージョン情報]** ➡ **[ネットワーク]**で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

# 無線LANやBluetooth®を使う際のお願い

- 本機および付属のリモコンは日本国の電波法に基づく無線設備です。分解して使用すると法律で罰せられることがあります。
- 本機に搭載されている無線LAN設備や、本機および付属のリモコンに搭載されているBluetoothは、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4 GHz帯と5 GHz帯、本機および付属のリモコンのBluetoothが使用する周波数帯は2.4 GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機に内蔵の無線LANや、本機および付属のリモコンのBluetoothをお使いになる場合は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANや、本機および付属のリモコンに搭載されているBluetoothが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

無線LAN／Bluetoothを使用する場合は、以下をお読みください。

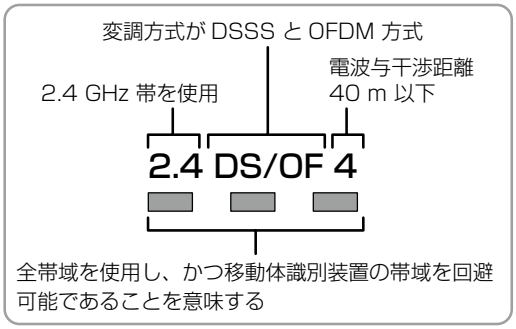
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LAN／Bluetoothの使用を停止し、「船井電機 お客様ご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「船井電機 お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

## 無線LANの規格について

- 5 GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。一部、5 GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5 GHz帯を使用せずに2.4 GHz帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、右図の内容を示しています。
- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

| IEEE802.11b／g／n |
|---|

| IEEE802.11a／n／ac | | |
|---|---|---|
| ~~J52~~ | W52 | W53 | W56 |




| 規格 | | チャンネル | 周波数帯(中心周波数帯) |
|---|---|---|---|
| IEEE802.11b／g／n | | 1～13 | 2.412～2.472 GHz |
| IEEE802.11a／n／ac | W52 | 36, 40, 44, 48 | 5.18～5.24 GHz |
| | W53 | 52, 56, 60, 64 | 5.26～5.32 GHz |
| | W56 | 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140 | 5.50～5.70 GHz |

※本機は従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。

ご注意
- 5 GHz 帯に対応した無線LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5 GHz 帯でのご使用をおすすめします。
- 2.4 GHz 帯の無線LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、以下にご注意ください。
  - USB3.0対応のUSB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz 帯の機器(電子レンジなど)を本機の近くで使用すると、無線LAN通信が途切れることがあります。USB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz 帯の機器をお使いになるときは、本機の近くには設置せず、本機からできるだけ離して配置してください。
  - F340シリーズ 4K衛星放送受信に影響を与えますので、本機からできるだけ離して配置してください。



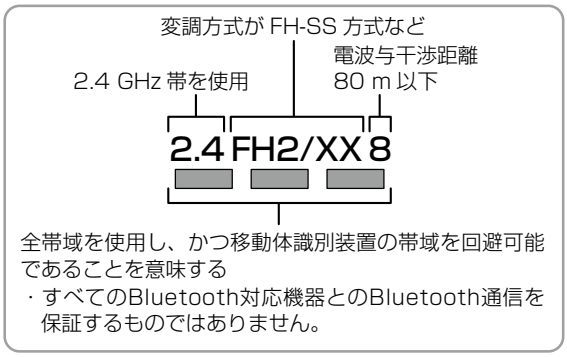
次ページへつづく

# 無線LANやBluetooth®を使う際のお願い(つづき)

## Bluetoothの規格について

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。

本体の周波数表示




- Bluetoothの性能や環境条件による影響など。

ご注意

- 本機はBluetoothに対応していますが、すべてのBluetooth機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。
- Bluetoothでは約10 mまでの距離で接続できますが、障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素などに影響されます。
- 2.4 GHz帯の機器(無線LANや電子レンジなど)の近くでお使いの場合は、Bluetoothの接続や通信が途切れたり、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
- Bluetoothの電波は動作に影響を与える可能性があるため、電子医療機器などの近くではBluetooth通信や接続はおこなわないでください。
- 本機に同時接続できるBluetoothオーディオ機器は1台のみです。ただし、Bluetoothオーディオ機器以外のBluetooth機器の場合は、複数台同時接続できます。
  - (例:Bluetoothスピーカーを1台と、付属のリモコンやBluetoothキーボードを同時接続することができます。)
- Bluetoothオーディオ機器を本機と接続している状態では、本機スピーカーから音声を同時に出力することはできません。
- Bluetoothオーディオ機器への音声転送時対応コーデック(圧縮方式)は、標準のSBC(Sub-Band Codec)です。
  - (LDAC、AAC、aptX、eSBCなどには対応していません)
- Bluetoothの特性により、送信側の音声に比べて受信側のBluetoothオーディオ機器では再生がわずかに遅れます。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth通信をおこなう際はご注意ください。

## 無線LAN製品やBluetooth機器ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

### 通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

### 不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品やBluetooth機器はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをおすすめします。
- 無線LANやBluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# ホーム画面について

いろいろな機能を呼び出せます。

## 基本的な使いかた

**1** ⌂を押して、ホーム画面を表示する

**2** ナビゲーションボタン◎でコンテンツや機能を選んで選択ボタン●を押す

### ホーム画面

① プロフィール
② 入力切換
③ ホーム
④ 探す
⑤ ライブ
⑥ アプリ
⑦ アプリとゲーム
⑧ 設定

※設定内容や画面表示は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

▷ **ホーム画面に表示されるコンテンツについて**

EM「はじめに」➡「ホーム画面について」

# 動画配信サービスを楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、さまざまな動画配信サービスをお楽しみいただけます。ご利用いただくには、アプリのインストールや、別途契約（有料）が必要な動画配信サービスもあります。
また、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

お知らせ
- 動画配信サービス利用中に文字入力が必要な場合は、画面表示に沿って操作してください。
- 動画配信サービスのご利用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

### 動画配信サービスのご利用に必要な接続と設定

本機で動画配信サービスを利用するためには、ブロードバンド環境（FTTH、CATV（ケーブルテレビ）など）が必要です。
利用する前に、「ネットワークを接続・設定する」で通信設定をおこなってください。
EM「各種設定」➡「ネットワークを接続・設定する」
動画配信サービスを利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。
くわしくは各動画配信サービスまたはお客様が契約されたプロバイダーのサイトをご覧ください。

# デジタル放送でできること

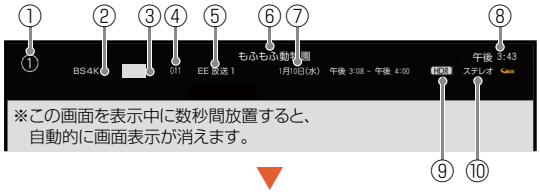
## 画面表示を確認する

現在視聴している番組名、チャンネル番号、放送や音声の種類、現在時刻などを確認できます。

### ▷ デジタル放送のとき

**1** ≡を押す

**2** 画面表示を選んで選択ボタン●を押す




現在放送中の番組

① リモコンのボタン番号
② 放送の種類
③ 放送局のロゴ
④ 放送局の3桁のチャンネル番号
⑤ 放送局名
⑥ 現在放送中の番組名
⑦ 番組の放送日時
⑧ 現在時刻
⑨ HDRアイコン（信号受信時のみ）
⑩ 音声の種類※

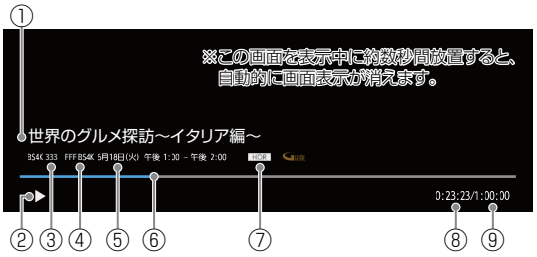
お知らせ
- 本機の動作状態（放送の視聴中や再生中、録画中など）によって、表示される情報が変わります。
- チャンネルなどを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

※デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主／副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名（視聴中の番組により「日本語」、「英語」など、表示が異なります）があります。

### ▷ 録画番組を再生しているとき

**1** ≡を押す

**2** 画面表示を選んで選択ボタン●を押す




再生中の録画番組

① 録画番組名
② 動作状態
③ 放送の種類／放送局の3桁のチャンネル番号
④ 放送局名
⑤ 録画番組の録画日時
⑥ タイムバー（再生位置の目安）
⑦ HDRアイコン（信号受信時のみ）
⑧ 再生時間
⑨ 総再生時間

# オプションメニューを使う

**≡を押すと、現在の視聴中の画面に対して、各種設定の変更ができます。**

| この番組を録画する／録画を停止する |
|---|
| EM「録画する」➡「放送中の番組を録画する」 |

| 音声切換 |
|---|
| EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「音声を切り換える」 |

| 字幕切換 |
|---|
| EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「字幕を切り換える」 |

| 番組内容 |
|---|
| EM「視聴する」➡「番組表（Gガイド）でできること」➡「番組内容を表示する」 |

| 画面表示 |
|---|
| EM「視聴する」➡「テレビを使いこなす」➡「画面表示を確認する」 |

| 視聴オプション |
|---|
| EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送を見る」<br>「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「アングルを切り換える」<br>「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「マルチ番組の映像、音声などを切り換える」<br>「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「サービスを切り換える（独立データ放送を見る）<br>「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」 |

| 時計 |
|---|
| 現在時刻の表示／非表示を切り換えることができます。 |

お知らせ
- 視聴中の画面によって表示される各種設定の内容は異なります。

# デジタル放送について

本機は、地上デジタル／BS･110度CSデジタル／BS4K･110度CS4K※チューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS･110度CSデジタル／BS4K･110度CS4K※対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。
※ F340シリーズ のみ

## 地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のサイト https://www.apab.or.jp/をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店へお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV（ケーブルテレビ）で受信することもできます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が放送されているかは、CATV放送会社へお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

## BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送をおこなっています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

### ■「WOWOW」カスタマーセンター

TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00～20：00（年中無休）
https://www.wowow.co.jp/

### ■「スターチャンネル」カスタマーセンター

TEL：0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間　10：00～18：00（年中無休）
https://www.star-ch.jp/

## 110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー !」への加入申し込みと契約が必要です。
  110度CS デジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。
  本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

### ■「スカパー !」カスタマーセンター（総合窓口）

TEL：フリーダイヤル　0120-039-888
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
https://www.skyperfectv.co.jp/

## 新4K8K衛星放送（ F340シリーズ のみ）

- 従来のデジタル放送をこえる高精細な映像でより臨場感を楽しめます。
- BS･110度CSを使った新しい4K･8K放送です。本機で8K放送の受信はできません。
- 本機は新4K8K衛星放送における「スカパー !」の放送に対応しています。

# 番組表（Gガイド）でできること

## 番組表について

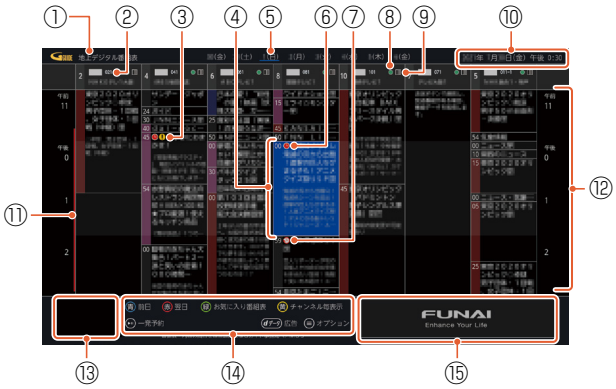
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K放送※、CS4K放送※の番組表を表示することができます。
※ F340シリーズ のみ

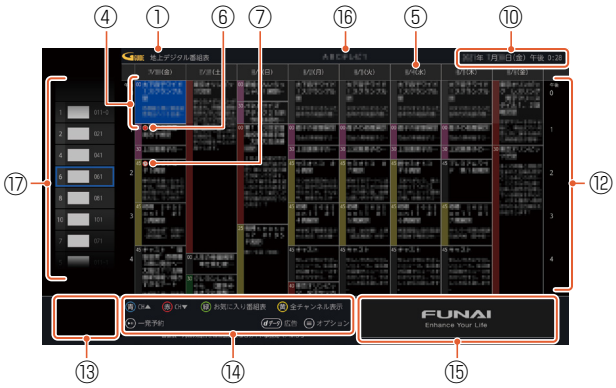
**1** 番組表 を押す

**2** F340シリーズ 地上、BS/CS、4K でお好みの放送の種類を選ぶ
F140シリーズ 地上、BS、CS でお好みの放送の種類を選ぶ

- 番組表を表示中に 緑 を押して、お気に入り番組表に切り換えることもできます。
- 番組表を表示中に 黄 を押して、チャンネルごとの番組表に切り換えることもできます。

### 番組表の見かた




① 番組表の種類
② 放送局のロゴ／放送局の3桁のチャンネル番号／放送局名
③ ❗（黄）：他の予約と重複している予約番組
（予約一覧 P.39 では 重複 が表示されます）
④ 選択中の番組
⑤ 表示している番組表の日付
⑥ ●（赤）：録画予約済み
⑦ （赤）：繰り返し録画予約済み
⑧ ●（緑）：お気に入り番組表に登録済みのチャンネル
⑨ サブチャンネル非表示
⑩ 現在の日時
⑪ 録画予約を設定している時間帯（赤色帯）
⑫ 時間
⑬ 現在視聴中の放送局の映像
⑭ 操作ガイド
⑮ 広告
⑯ 選択中のチャンネル名
⑰ チャンネル一覧

**ご注意**

- F340シリーズ 本機で番組表にBS4K･CS4K放送のすべてのチャンネルを表示するには、BS4K･110度CS4K放送（左旋）の受信ができる環境が必要です。環境が整っていない場合は、「決定ボタンで選局し、放送番組がある場合、番組データを取得します。4K放送の視聴およびデータの取得にはBS4K･110度CS4K放送（左旋）の受信ができる環境が必要です。」と表示されているチャンネルは受信できません。
- 8K放送の番組は、番組表に表示されていても、本機では視聴も録画もできません。
- 受信や視聴ができないチャンネルの番組表をチャンネル非表示の設定で、表示しないようにすることができます。
[EM]「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「チャンネルの飛び越し（非表示）を設定する」
- 番組表アプリにおけるプライバシーポリシーに同意していない場合や、ネットワークに接続していない場合は、以下の機能が使用できません。
－番組表の**【おすすめ・特集】**　－番組内容の**【関連シリーズ】**　－番組検索の**【カテゴリー】**

# 録画の前に

USB-HDD

本機では、デジタル放送やBS4K※・CS4K放送※を2番組同時に録画することはできません。
本機でデジタル放送を録画する場合は、録画モードDR(固定)となり、他の録画モードは選べません。
ただし船井電機製のBDレコーダーと接続している場合は、任意の録画モードでBDレコーダーへ録画予約が可能です。
※F340シリーズのみ

ご注意
- 本機の不具合または放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、記録内容の補償や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 放送中の映像とUSBハードディスクに録画した映像を比較すると画質に差があるように見えますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。

## 録画するメディアについて

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

| 番組の録画制限 | USB-HDD |
|---|---|
| 制限なしに録画可能 | ○ |
| コピーワンス(1回だけ録画可能) | ○ |
| ダビング10 | ○ |
| 録画禁止 | × |

○：できる　×：できない

ご注意
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
- 録画中に「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画が可能な状態になると、再び録画が始まります。

### 最大記録可能数／登録数／文字数について

最大記録可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

| 項目 | USB-HDD |
|---|---|
| 番組数 | 2,000 |
| USB-HDD名の文字数 | 全角40文字 |
| 番組名の文字数 | 全角40文字 |

- 録画予約数　最大200件　●1番組あたりの連続録画可能時間　15時間

お知らせ
- 文字数は、全角文字／半角カナで計算しています。

# 放送中の番組を録画する

USB-HDD

## 録画する

放送中の番組を録画することができます。

**1** F340シリーズ 地上、BS/CS、4K を押して、録画したい放送の種類を選ぶ
F140シリーズ 地上、BS、CS を押して、録画したい放送の種類を選ぶ

**2** 選局 または 1 ～ 12 で録画したいチャンネルを選ぶ

**3** 放送視聴中に ≡ を押して、この番組を録画する を選んで選択ボタン ● を押す
- 番組が終了すると自動的に録画を停止します。

お知らせ
- 現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネルを確認したいときは、≡ ➡ 画面表示 を選んで選択ボタン ● を押して、画面表示を表示すると確認できます。

## 録画を停止する

録画中に、録画を停止できます。

**1** 放送視聴中に ≡ を押して、録画を停止する を選んで選択ボタン ● を押す
または番組表から録画中の番組を選んで ▶II を押す

**2** 確認画面が表示されるので、はい を選んで選択ボタン ● を押す
- 停止した位置までが1つの番組となります。
（停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。）

# 番組表から一発予約で録画予約する

USB-HDD

## 1 番組表を押す

## 2 F340シリーズ 地上、BS/CS、4K を押して、録画したい放送の種類を選ぶ
F140シリーズ 地上、BS、CS を押して、録画したい放送の種類を選ぶ

## 3 予約したい番組を選んで ▶II を押す

- 録画予約が確定し、選んだ番組に（赤）が表示されます。
- 放送中の番組を選んだ場合は、ただちに録画が始まり予約も登録されます。
- 他の番組も予約したいときは、この手順を繰り返します。
- 予約の設定が終わったら、↩ を押してください。

▷ **予約の内容を変更したいときは**

**①一発予約した番組を選んで選択ボタン ● を押す**

**② 録画予約変更／消去 を選んで選択ボタン ● を押す**

**③予約の内容を変更する**

- くわしくは「設定済みの録画予約の内容を変更する」P.39の手順5以降をご覧ください。

▷ **予約の確認・消去をするときは**

予約の確認「設定済みの録画予約を確認する」P.39、予約の消去「不要な録画予約を消去する」P.41をご覧ください。

▷ **録画を停止するときは**

「録画を停止する」P.37をご覧ください。

お知らせ
- 予約が重なったときは、「予約が重なったときは」をご覧ください。P.42

# 録画予約を確認・変更・消去する

USB-HDD

## 設定済みの録画予約を確認する

予約一覧で録画予約を確認することができます。

**1** 番組表 を押す

**2** ≡ ➡ 予約一覧 を選んで選択ボタン ● を押す

- 確認が終わったら、⮌ を押してください。

### 予約一覧の見かた

① 予約結果のお知らせ
② 番組名
③ 予約日時、放送局名
④ 現在の日時
⑤ 登録済みの予約件数
⑥ 録画先メディア
⑦ スキップ設定をしている予約
⑧ 操作ガイド

■ 録画中の予約には、録画 が表示されます。
■ 重複 が表示されたときは、「重なっている予約を確認するときは」をご覧ください。P. 42
■ **[予約結果のお知らせ]**画面についてくわしい説明は
EM「録画する」➡「録画についての補足説明」➡「予約録画が正常におこなわれなかったときは」

## 設定済みの録画予約の内容を変更する

予約一覧または番組表から録画予約の内容を変更することができます。

### 予約一覧から録画予約の内容を変更する

**1** 番組表 を押す

**2** ≡ を押して、予約一覧 を選んで選択ボタン ● を押す

**3** 変更したい録画予約を選んで選択ボタン ● を押す

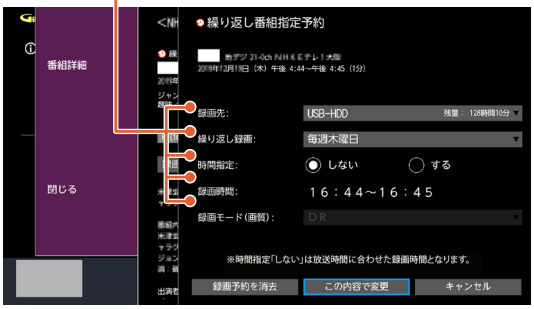
**4** 録画予約変更／消去 を選んで選択ボタン ● を押す



次ページへつづく

## 5 変更したい項目へ移動して、内容を変更する

ナビゲーションボタン◎の上下で各項目を選んで選択ボタン●を押す




- 番組表からの予約の場合は、チャンネルの変更はできません。

## 6 設定内容を変更したい項目を選んで選択ボタン●を押す

- お好みに合わせて以下の項目を変更してください。

### 番組表予約で設定できる項目一覧

| | |
|---|---|
| 録画先 | USB-HDD |
| | HDMI○:XXX※1※2 |
| 繰り返し録画 | しない |
| | 毎週○曜日(○は曜日を表示) |
| | 毎日 |
| | 毎週○~○曜日(○は曜日を表示) |
| 時間指定 | しない |
| | する※3 |

※1 **[HDMI]**の「○」は番号、「X」はデバイス名を表示します。
※2 F340シリーズ 4K放送の場合は選択できません。
※3 録画時間が変更できます。

### ▷ 録画モードについて

EM「録画する」➡「録画の前に」➡「録画モードについて」をご覧ください。

## 7 すべて設定が終わったら、この内容で変更へ移動して選択ボタン●を押す

- 予約が確定し、予約一覧に戻ります。
- 設定が終わったら、⮌を押してください。

### ▷ 予約が重なったときは

「予約が重なったときは」をご覧ください。P.42

ご注意
- 番組表から録画予約した番組の場合は、時間指定の予約に変更すると、番組の自動延長や自動追跡ができなくなります。番組表から予約した録画予約の特徴は、「番組表から録画予約した場合の自動追跡について」をご覧ください。P.43

# 番組表から録画予約の内容を変更する

EM「録画する」➡「録画予約を確認･変更･消去する」➡「設定済みの録画予約の内容を変更する」をご覧ください。

# 録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)

EM「録画する」➡「録画予約を確認･変更･消去する」➡「録画予約スキップ(毎週／毎日録画を一時停止する)」をご覧ください。

# 不要な録画予約を消去する

番組表または予約一覧から不要な録画予約を消去することができます。

## 番組表から録画予約を消去する

録画予約の消去は1予約ずつとなります。

**1** 番組表を押す

**2** 録画予約を消去したい番組を選んで▶IIを押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで選択ボタン●を押してください。
- 録画予約が消去され、選んだ番組から🕒が消えます。
- ▶IIの代わりに選択ボタン●を押して番組内容を表示させてから録画予約を消去することもできます。
- 設定が終わったら、⮌を押してください。

## 予約一覧から録画予約を消去する

**1** 番組表を押す

**2** ≡を押して、予約一覧を選んで選択ボタン●を押す

**3** 予約を消去したい番組を選んで黄を押す

- 選んだ番組に【✓】が付きます。

**4** 複数の予約を消去したいときは、さらに番組を選んで選択ボタン●を押す

- 選んだ番組に【✓】が付きます。
- 緑を押すとすべての番組を選ぶことができます。
- 黄を押すとすべての番組の選択を解除できます。

**5** 番組を選び終わったら、▶IIを押す

- 確認画面が表示されるので、はいを選んで選択ボタン●を押してください。
- 予約一覧画面に戻ります。
- 設定が終わったら⮌を押してください。

# 録画についての補足説明

USB-HDD

## 録画全般

■ 録画中にUSBハードディスクの残量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。

## 録画予約全般

### 予約録画があるときの本機の動き

▷ **予約開始時刻の直前になると**

- 本機の電源がオンのとき、そのまま録画は実行されます。本機の電源を電源オフにしても録画は中断されません。
- 本機の電源がオフのときは、電源がオフのまま録画が実行されます。

▷ **予約終了時刻になると**

- 自動的に録画が終わります。

## 予約が重なったときは

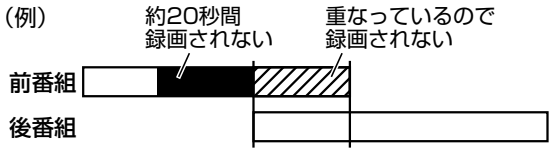
予約を決定するときに確認画面が表示されます。

### 重なっている予約を確認するときは

- メッセージを確認し（番組表予約の場合は確認画面で**【はい】**を選んで）選択ボタン ● を押すと、**【予約一覧】**が表示されます。
- 重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には 重複 が付いて表示されています。

### 2つ以上の予約が重なった場合は

- 全部または一部が重なった場合は、録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。

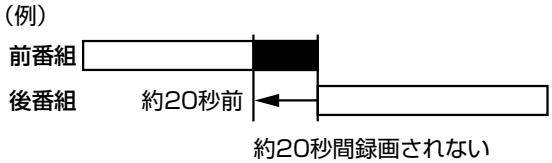



※ ■の部分（約20秒）は録画されません。

- 開始時刻が同じ場合は、予約一覧で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。

## 1番目の予約の終了時刻と2番目の予約の開始時刻が同じときは

連続する予約（前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ）の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。




※ ■の部分（約20秒）は録画されません。

## 停電があったときは

### 全般

- 停電から復帰すると、自動的に電源がオンになって復帰処理をおこないます。
- 停電によって予約録画が中断したときは、予約一覧でお知らせします。P.39

### 録画の種類別では

#### ▷ 予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に時計が自動修正されると、予約内容が復活します。

#### ▷ 予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻前に停電から復帰したときは、復帰処理終了後に録画終了時刻まで録画されます。
- 録画終了時刻後に停電から復帰したときは、録画は停電したところで終了し、復帰処理終了後に電源がオフになります。

### 録画先では

#### ▷ USBハードディスク

- 停電前後の番組は分割されて録画一覧に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、**[リセットして録画した番組を削除]**が必要となることがあります。P.49

## 予約録画が正常におこなわれなかったときは

■ 録画予約の重なりや停電などの要因で録画が正常におこなわれなかった予約は、**[予約結果のお知らせ]**画面にまとめられます。予約一覧で青を押して、番組を選んで選択ボタンを押すと、お知らせ内容が表示されます。**[戻る]**を選ぶとそのまま**[予約結果のお知らせ]**画面に戻り、**[お知らせ消去]**を選ぶと予約結果のお知らせが一覧から消去されます。

■ 複数の予約のお知らせを消去するには、**[予約結果のお知らせ]**画面で黄を押して、消去したい番組を選んで選択ボタンを押します。選んだ番組に**[✓]**がつくので、消去したい予約のお知らせがすべて選ばれているか確認し、▶II を押します。確認画面が表示されるので**[はい]**を選んで選択ボタンを押してください。（予約一覧の表示方法については、「設定済みの録画予約を確認する」をご覧ください。P.39）

■ **[予約結果のお知らせ]**画面にまとめられる番組は、最大30件です。30件をこえた場合は、古い番組から順に消去されます。

お知らせ
- 最大記録可能数／登録数については、「録画の前に」をご覧ください。P.36

## 番組表から録画予約した場合の自動追跡について

- デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。
  （例）
  - 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
  - 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなるとき。
  - 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
  - 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
- 自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は3時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。
- 野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。
  （例）
  - 昼の時間帯に「NHK総合」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK Eテレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
  - 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」の例に従って録画されます。P.42
  - 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表から予約した場合のみ有効となります。

# 録画した番組を再生する

USB-HDD

本機ではUSBハードディスクに録画した番組を再生することができます。
■ 本機で記録したUSBハードディスクは、他の機器では再生できません。

**▶ 準備**

- USBハードディスクを再生するときは、録画用USB端子※にUSBハードディスクをつないでおく P.26

※ F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子　F140シリーズ USB（録画用）端子

## 録画一覧から再生する

**1** **を押して、画面の アイコン ➡ 録画一覧 を選んで選択ボタン を押す**

- 録画一覧が表示されます。
- を押すと、録画一覧を終了します。

**2** **見たい番組が入った分類を選んで選択ボタン を押す**

**3** **見たい番組を選ぶ**

**4** **選択ボタン を押す**

## 再生中に番組内容を見る

**を押して、番組内容 を選んで選択ボタン を押す**

- 番組内容が表示されます。

## 再生を一時停止する

**または選択ボタン を押す**

- 再生が一時停止します。
- または選択ボタン を押すと、再生に戻ります。

## 再生を停止する

**を押す**

- 再生が停止し、録画一覧が表示されます。

### ▷ 録画中の番組を再生するには

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

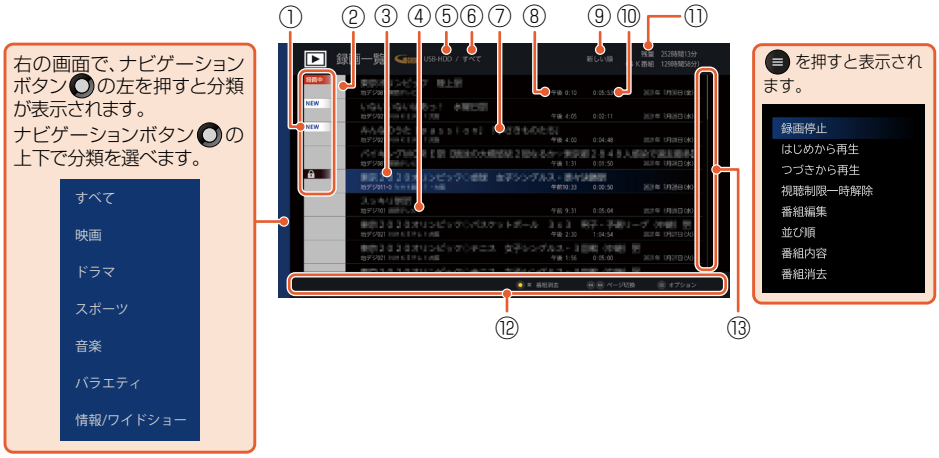
EM「再生する」➡「再生するときの操作」➡「追っかけ再生（録画中の番組を最初から見る）」

# 録画一覧(録画した番組の一覧)について

録画した番組を見るときは、録画一覧を表示させて見たい番組を選んでください。
録画一覧では、録画された番組が並ぶ「番組一覧」を表示します。また、ジャンルなどの分類に番組をまとめた状態で表示することもできます。

## 録画一覧の見かた

USB-HDD




① 番組の種類
録画中 :録画中の番組
録画が終わると 録画中 が NEW になります。
NEW :未再生の番組
再生すると NEW は消えます。
🔒 :保護された番組
② サムネイル(番組の冒頭画面)
③ 選択中の番組
④ 放送局名
⑤ 操作中のメディア
⑥ 分類の名前
⑦ 番組名
⑧ 録画開始時刻
⑨ 番組並び順の種類
⑩ 番組総時間
⑪ 残量
残量が10時間未満になると赤字に変わります。
⑫ ガイド表示
青 を押すと、番組内容を表示できます。
黄 を押すと、番組を消去できます。
⑬ スクロールバー
9番組以上あるときに表示されます。

ご注意 ● 分類によって録画一覧の表示は異なります。上記は、「すべて」内の番組一覧の表示例になります。

# 再生するときの操作

USB-HDD

▶準備
- USBハードディスクを再生するときは、録画用USB端子※にUSBハードディスクをつないでおく P.26

※ F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子　F140シリーズ USB（録画用）端子

## 速度を変えて再生する

### 早戻し／早送り（早く見る／聞く）

**再生中に ◀◀・▶▶ を押す**

- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。1段階目の早送り（約1.5倍速）のみ、音声付きで再生することができます。
  F340シリーズ BS4K･CS4K放送の番組は、1段階目の早送り（約2倍速）でも音声付きで再生することができません。
- ▶II を押すと通常の再生速度に戻ります。

## スキップ･サーチ

### 10秒戻し／30秒スキップ（少し前や先にとばす）

**再生中にナビゲーションボタン ◎ の左または右を押す**

- 押すたびに再生がスキップします。

### サーチ（見たい場面にとばす）

**再生中にナビゲーションボタン ◎ の左または右を長押しする**

- 長押しをしている間、再生位置【●】（青）が移動して、長押しを離したところから再生を開始します。

お知らせ
- 操作をおこなうと再生情報が画面に表示されますが、再生を開始してから約4秒が経つか、↩ を押すことで表示を消すことができます。

# 録画した番組を消去する

USB-HDD

- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。
- 録画した番組はフォルダーの中に入っています。

不要な番組を消去し、USBハードディスクの空き容量を増やすことができます。

**▶準備**

- USBハードディスクから消去するときは、録画用USB端子※にUSBハードディスクをつないでおく P.26

※ F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子　F140シリーズ USB（録画用）端子

## 録画一覧から不要な番組を消去する

**1** **を押して、画面の アイコン ➡ 録画一覧 を選んで選択ボタン を押す**

- 録画一覧が表示されます。
- を押すと、録画一覧画面を終了します。

**2** **消去したい番組が入った分類を選んで選択ボタン を押す**

**3** **黄 を押す**

消去する番組を選ぶ画面が表示されます。

- を押して 番組消去 を選んで操作することもできます。

**4** **消去したい番組を選んで選択ボタン を押す**

- ナビゲーションボタン の上下で消去したい番組を選んでください。
- 選んだ番組に【 】が付きます。
- 緑 を押すと、現在の分類内のすべての番組に【 】が付きます。
- 黄 を押すと、【 】がすべて解除されます。

**5** **番組を選び終わったら、 を押す**

**6** **確認メッセージが表示されるので、 はい を選んで選択ボタン を押す**

- 選んだ番組が一括消去されます。

ご注意
- 分類の異なる番組を同時に消去することはできません。分類ごとに番組消去をおこなってください。

# 本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンやストレージ容量、ネットワーク情報などを表示します。

**1** を押して、画面の アイコン ➡ デバイスとソフトウェア を選んで選択ボタン を押す

**2** バージョン情報 を選んで選択ボタン を押す

**3** マイテレビ が選ばれていることを確認し、「ソフトウェアのバージョン」を確認する

# ネットワークによるソフトウェアの更新をおこなう

ネットワークを利用して、ソフトウェアをダウンロードします。

**1** を押して、画面の アイコン ➡ デバイスとソフトウェア を選んで選択ボタン を押す

**2** バージョン情報 を選んで選択ボタン を押す

**3** アップデートをチェック を選んで選択ボタン を押す

- 確認画面が表示された場合は、**[はい]** を選んで選択ボタン を押してください。

**4** アップデートをインストール を選んで選択ボタン を押す

お知らせ
- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

# すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

**1** **を押して、画面の アイコン ➡ デバイスとソフトウェア ➡ 工場出荷時の設定にリセット を選んで選択ボタン を押す**

**2** **初期化の種類を選んで選択ボタン を押す**

▷ **リセットして録画した番組を削除**

- すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
  USBハードディスクの登録情報も初期化(消去)されます。登録情報を初期化すると登録済みのUSBハードディスク内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。
  EM「外部機器を使う」➡「USBハードディスクを接続・設定する」➡「USBハードディスクを録画用として登録する」

▷ **録画した番組を削除せずにリセット**

- USBハードディスクの初期化はせずに、お買い上げ時の状態に戻すときに選びます。

● 機能制限をオンにしている場合は、PIN(機能制限のパスワード)の入力画面が表示されますので、設定時に入力した4桁の番号を入力してください。

**3** **確認画面が表示されるので、 リセット を選んで選択ボタン を押す**

● 初期化が始まり、数分で完了します。

**ご注意**

- 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[リセットして録画した番組を削除]**をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

| 型番 | | | FL-55UF340 | FL-50UF340 | FL-43UF340 | FL-32HF140 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 種類 | | | 4K液晶テレビ | | | 地上·BS·110度CS<br>デジタルハイビジョン<br>液晶テレビ |
| 電源 | | | AC100 V　50/60 Hz | | | |
| 消費電力 | 起動時 | | 110 W | 99 W | 98 W | 50 W |
| | 待機時 | | 0.5 W(データ取得時／ネットワーク接続時などをのぞく) | | | |
| 年間消費電力量※1 | | | 164 kWh/年<br>区分名※2: c<br>(4K以上液晶テレビ) | 162 kWh/年<br>区分名※2: c<br>(4K以上液晶テレビ) | 143 kWh/年<br>区分名※2: c<br>(4K以上液晶テレビ) | 71 kWh/年<br>区分名※2: a<br>(2K未満液晶テレビ) |
| 受信機型サイズ | | | 55V | 50V | 43V | 32V |
| 無線LAN規格 | | | IEEE802.11b／g／n(2.4 GHz)<br>IEEE802.11a／n／ac(5 GHz) | | | |
| Bluetooth® | バージョン | | 5.0 | | | |
| | 対応プロファイル | | GAP／HID／A2DP／AVRCP／GATT／HOGP | | | |
| 音声 | スピーカー(× 2) | | (7.6 cm × 4.2 cm) × 2<br>実用最大出力JEITA　10 W + 10 W | | | (11 cm × 4.1 cm) × 2<br>実用最大出力JEITA<br>8 W + 8 W |
| 地上デジタルアンテナ入力 | | | UHF　1軸　75 Ω不平衡形 | | | |
| BS·110度CSアンテナ入力 | | | 75 Ω不平衡形(C15形)兼コンバーター用電源(DC15 V)出力 | | | |
| 受信チャンネル | | | 各:000～999ch<br>BS4K、110度CS4K<br>地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル | | | 各:000～999ch<br>地上デジタル、<br>BSデジタル、<br>110度CSデジタル |
| 表示画素数 | | | 3,840ドット × 2,160ライン | | | 1,366ドット × 768ライン |
| 画面寸法(cm) | | | 幅121.0 × 高さ68.0<br>対角138.8 | 幅109.6 × 高さ61.6<br>対角125.7 | 幅94.1 × 高さ52.9<br>対角108.0 | 幅69.8 × 高さ39.2<br>対角80.1 |
| ヘッドホン出力端子 | | | φ 3.5 ステレオミニジャック | | | |
| ビデオ入力端子 | | | (映像／音声)1系統　ピンジャック | | | |
| HDMI入力端子 | | | 3系統 3端子 ARC対応(HDMI1入力端子のみ) | | | |
| LAN端子 | | | RJ-45　10BASE-T／100BASE-TX | | | |
| USB端子 | | | USB 1 (HDD録画):　Type A　DC5 V　最大900 mA | | | USB(録画用):<br>Type A　DC5 V<br>最大500 mA |
| | | | USB 2 (AV周辺機器用): Type A　DC5 V　最大500 mA | | | USB (AV周辺機器用):<br>Type A　DC5 V<br>最大500 mA |
| 光デジタル音声出力端子 | | | 1系統　1端子 | | | |
| 外形寸法 | スタンドあり | 幅(cm) | 123.7 | 112.2 | 96.9 | 73.4 |
| | | 高さ(cm) | 76.8 | 70.3 | 61.6 | 48.0 |
| | | 奥行(cm) | 22.9 | 22.9 | 22.9 | 18.4 |
| | スタンドなし | 幅(cm) | 123.7 | 112.2 | 96.9 | 73.4 |
| | | 高さ(cm) | 71.6 | 65.0 | 56.4 | 44.4 |
| | | 奥行(cm) | 9.7 | 9.7 | 9.7 | 9.2 |
| 質量 | スタンドあり(kg) | | 11.7 | 10.3 | 8.2 | 5.8 |
| | スタンドなし(kg) | | 11.6 | 10.2 | 8.1 | 5.7 |
| 使用周囲温度 | | | 5～40 ℃ | | | |
| リモコン | 型番 | | YKF482-B001 | | | YKF482-B002 |
| | 電源 | | DC3 V(単4形乾電池2本) | | | |
| | 質量(g) | | 約79(乾電池含む) | | | |
| | 操作範囲(赤外線) | | 左右約30°以内、上下約15°以内 | | | |

※1 省エネ法[2026年基準]に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、一年間に消費する電力量です。

※2 省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。

- テレビのV型(55V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- テレビの省エネ法の改正(2021年5月)により、年間消費電力量の測定方法と区分名が変更になりました。本書では、新基準での年間消費電力量、区分名で掲載しております。

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください

## ■ 保証書(付属品袋に同梱しています)について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、FUNAI製品情報サイトの「お問い合わせ」ページ(funai.jp/cs/contact/)の修理規約も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

**製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。**

## ■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。

## ■ 補修用性能部品の保有期間

- 船井電機は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 部品について

- 修理などで交換した部品は、任意で引き取らせていただきます。

## ■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

**※ この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。**

## ■ 修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、「船井電機 お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(外部機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。

**ご連絡いただきたい内容**

- **お名前**
- **ご住所**
- **電話番号**
- **お買い上げ製品の型番**
  (この取扱説明書または保証書に記載)
- **お買い上げ製品の製造番号**
  (保証書または本機背面のラベルに記載)
- **お買い上げ日**
- **症状**(故障または不具合の内容)
  「症状診断シート」(次頁)をご活用ください。

**相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて**

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、船井電機のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。(2021年10月現在)

# 症状診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

**【ご確認事項】** ※以下［　　］の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

**全情報の初期化：** 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になったりする場合があります。

全情報の初期化をおこなうと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種やUSBハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。
USB機器の初期化をおこなうと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。
USB機器は再登録も必要となります。

☐ 同意する

☐ 同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

**【不具合症状】**

| | |
|---|---|
| **発生区分** | ☐ 地デジ　☐ BS／CS　☐ BS4K／CS4K　☐ ハードディスク　☐ USB機器　☐ BDディスク<br>☐ DVDディスク　☐ その他（　　） |
| **発生頻度** | ☐ 常時　☐ 時々　☐ その他（　　） |
| **症状** | （できるだけくわしく）　例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。 |
| **受信環境** | ☐ 戸建住宅（個別受信）　☐ マンションなど（共同受信）　☐ ケーブルテレビ（社名：　　） |
| **接続機器** | ☐ テレビ　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）<br>☐ レコーダー　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）<br>☐ USBハードディスク　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）<br>☐ その他　（　　） |

## ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。
（この製品の型番、製造番号は保証書および本機背面などに記載してあります。）

| | | |
|---|---|---|
| お買い上げ年月日 | 年　　月　　日 | F340シリーズ<br>ACAS番号 ※1<br>F140シリーズ<br>miniB-CASカード番号 ※2 |
| お買い上げ店名／電話番号 | ☎ | |
| お買い上げ製品の型番 | ☐ FL-55UF340　☐ FL-50UF340<br>☐ FL-43UF340　☐ FL-32HF140<br>（お買い上げいただいた製品の型番の☐にチェックを入れてください。） | |
| お買い上げ製品の製造番号 | | |

※1「ACAS情報」画面で確認できる「ID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。
　を押して、画面の アイコン ➡ **[ライブTV]** ➡ **[放送オプション]** ➡ **[一般]** ➡ **[ACAS情報]** を選んで選択ボタン を押す

※2「miniB-CAS情報」画面で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。
　を押して、画面の アイコン ➡ **[ライブTV]** ➡ **[放送オプション]** ➡ **[一般]** ➡ **[miniB-CAS情報]** を選んで選択ボタン を押す

お知らせ ● 本機を廃棄や譲渡する場合は、ご契約済みの各デジタル放送局に解除または変更の連絡をおこなってください。

## 本液晶テレビの廃棄

● 事業者が廃棄する場合
　－本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。くわしくは各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。廃棄物管理票は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

● 個人が廃棄する場合
　－家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

● 本機を廃棄されるときは**[リセットして録画した番組を削除]**をおこなうことをおすすめします。P.49

# 困ったときは

## おかしいな?と思ったときの調べかた

おかしいな？と思ったときに、お困りの症状から対処法をお調べいただけます。

- **不安定な動作となる場合は、お使いの製品のソフトウェアが最新バージョンになっているかをご確認ください。またはコンセントリセットをおこなっていただき、症状が改善されるかをご確認ください。**

- 電源やリモコン以外の項目については、電子マニュアル(FUNAI製品情報サイトに掲載)をご覧ください。

### 電源

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| 電源がオンにならない。 | • 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br>• リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 12<br>• 指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外に電源プラグを挿していませんか。<br>➡ 安全のための保護回路がはたらくため、電源がオンにならなくなります。いったん電源プラグを今のコンセントから抜いて、10分ほど時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100 V)につなぎなおし、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。P. 52 |
| 電源がオンにならない。<br>電源LED(青色)が点灯しない。 | • 電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源をオンにしなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。<br>➡ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。P. 52 |
| 電源がオンにならない。<br>本機の電源ボタンで電源がオンになるが、リモコンでは電源がオンにならない。 | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 12<br>• リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>• テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P. 16<br>• テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。 |
| テレビの電源をオフにすると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源がオフになる。 | • **[HDMI-CECデバイスコントロール]** ➡ **[電源コントロール]**が**[オン]**になっていませんか。<br>➡ **[HDMI-CECデバイスコントロール]** ➡ **[電源コントロール]**が**[オン]**になっている場合は、本機の電源をオフにするとHDMI-CEC対応機器の電源も連動してオフになります。HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 |
| 電源をオンにすると、セットアップ開始画面が表示される | • セットアップを完了していないときは、電源をオンにするとセットアップ開始画面が表示されます。 |
| リモコンで電源オフにしたあと、しばらくして動作音がした。 | • 電源オフにしたあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源オフにしてから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 |
| 電源をオフにしているときに動作音がした。 | • デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。 |

### リモコン

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| リモコンで操作できない。 | • リモコンの乾電池が消耗していませんか。P. 12<br>• リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>• テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。P. 16<br>• テレビのリモコン受光部に強い照明などが当たっていませんか。<br>• デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1～12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。<br>➡ 選局ボタンや番組表でチャンネル切換をしてください。<br>• リモコンがペアリングされていますか? |
| 選局ボタンで、特定のチャンネルだけ選べない。 | • 非表示にしていませんか。<br>選びたいチャンネルの非表示を解除してください。<br>EM「各種設定」➡「放送受信設定をする」➡「チャンネルの飛び越し(非表示)を設定する」 |
| 音声入力で検索できない。 | • リモコンのマイクをテープなどで塞いでいませんか。<br>• ネットワークは接続されていますか。<br>EM「各種設定」➡「ネットワークを接続･設定する」<br>• リモコンがBluetoothでペアリングされていますか。<br>EM「はじめに」➡「各部のなまえとはたらき」➡「リモコン」 |

## 地上デジタル放送のとき

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| 地上デジタル放送が映らない。<br>映像が乱れる。 | • UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。<br>➡ 地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」<br>• 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。<br>➡ 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。P. 20<br>• F140シリーズ miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>➡ miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。 |
| 映像や音が出ない、または時々出なくなる。<br>映像が静止する、または時々静止する。 | • UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。またはアンテナ線の劣化などありませんか。<br>➡ **[受信状態の確認]**で信号品質を確認することができます。何らかの要因で信号品質が低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき」<br>• 信号品質が低い状態でご覧になっていませんか。<br>➡ 信号品質が低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。 |

## BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送のとき（F340シリーズのみ）

| このようなときは… | ここをお調べください |
|---|---|
| BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送が映らない。<br>映像が乱れる。 | • BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。<br>• BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設しているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。<br>• 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。<br>• アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工していますか。<br>➡ **[受信状態の確認]**で信号品質が「20以上」になっているか、ご確認ください。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナを接続したとき」<br>• 左旋の4K放送を見るには、「SHマーク」がついた4K放送対応の右旋・左旋円偏波対応のアンテナ、壁面端子、ブースター、分配器、分波器、アンテナケーブルなどが必要です。くわしくは販売店へお問い合わせください。機器の交換が必要な場合があります。 |
| BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4K放送の映りが悪い。 | • アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。<br>• アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。<br>**[受信状態の確認]**で信号品質が「20以上」になっているか、ご確認ください。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」➡「BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナを接続したとき」 |

### BS・110度CSデジタル／BS4K・110度CS4Kアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

- BSおよびCS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

## その他

| このようなときは… | 対応のしかた |
|---|---|
| 視聴制限のPINコードを忘れてしまった。 | 本機をインターネットに接続している場合は、AmazonアカウントサービスからPINコードの変更が可能です。以下の手順で新しいPINを発行してください。<br>1. Amazonアカウントサービス「Prime Videoの設定」内の「視聴機能制限」に移動します。(https://www.amazon.co.jp/PIN)<br>2. Prime Video PINの「変更」ボタンをクリックして新しいPINを入力し「保存」ボタンをクリックします。<br>本機をインターネットに接続していない場合は、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。 |

# テレビ画面に表示されるメッセージ

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。
代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

| | 表示されるメッセージ　（例） | メッセージの意味と対応のしかた |
|---|---|---|
| E204 | このチャンネルは存在しません。 | • チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルを入力しています。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送を見る」➡「3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ」 |
| – | 地上デジタル放送のチャンネルは設定されていません。<br>地上デジタル設定をおこなってください。 | • 地上デジタル放送を受信するために、**【ライブTV】➡【放送オプション】➡【地上デジタル】**で、**【初回スキャン】**をおこなってください。<br>EM「はじめに」➡「セットアップをおこなう」 |
| E202 | 放送を受信できません。 | • 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、**【詳細を確認する】**を選択し**【アンテナの設定をおこなう】**もしくは**【チャンネルスキャンをおこなう】**をおこなってください。<br>• BS･110度CSデジタル放送やBS4K･110度CS4K放送（F340シリーズ のみ）が受信できなくなった場合は、[詳細を確認する]を選択し**【アンテナの設定をおこなう】**もしくは[アンテナ電源設定を確認する]をおこなってください。<br>EM「視聴する」➡「デジタル放送でできること」➡「デジタル放送の受信状態を確認する」 |
| – | 悪天候などにより、降雨対応放送に切り換えました。 | • 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。<br>EM「さまざまな情報」➡「用語の説明」➡「降雨対応放送」 |
| – | この番組をご覧いただくには、契約･登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか? | • 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像･音声の信号を選んでいます。P.34 |
| – | このデータ放送は対象地域外のため、ご覧になれません。 | • データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。 |
| – | ACASモジュールが使用できません。<br>カスタマーセンターへご連絡ください。 | • F340シリーズ いったん電源プラグをコンセントから抜いてからつなぎなおしてください。それでもこのメッセージが表示され放送を視聴できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。 |
| – | ACASモジュールが正しく動作していません。<br>カスタマーセンターへご連絡ください。 | • F340シリーズ いったん電源プラグをコンセントから抜いてからつなぎなおしてください。それでもこのメッセージが表示され放送を視聴できない場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。 |
| – | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | • F140シリーズ miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードを正しく挿入してください。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。 |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>カスタマーセンターへご連絡ください。 | • F140シリーズ 使用できないカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。 |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>正しいminiB-CASカードを挿入してください。 | • F140シリーズ カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。 |
| E200 | 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | • 選局したチャンネルが非放送番組です。 |
| – | このチャンネルは現在放送されていません。 | • 選局したチャンネルが放送休止中です。 |
| E210 | この受信機では、このチャンネルは選局できません。 | • 本機では選局できないチャンネルです。 |
| – | データ放送を受信できません。<br>別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | • データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 |
| – | データの表示ができませんでした。<br>別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | • データ放送のデータが受信できません。いったん、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 |
| – | 8K放送の視聴や録画はできません。<br>別のチャンネルを選んでください。 | • F340シリーズ 本機は8K放送に非対応です。<br>➡ 選局ボタン などで、別のチャンネルを選んでください。 |

## USB

| 表示されるメッセージ　（例） | メッセージの意味と対応のしかた |
|---|---|
| USBハードディスクが接続されていないか、本機に登録されていないUSBハードディスクが接続されているため、録画できません。 | • USBハードディスクを認識できません。もしくは認識できないUSBハードディスクを接続しています。USBハードディスクを確認してください。 |
| | • 本機で登録できるUSBハードディスクの容量は、32 GB～6 TBになります。USBハードディスクの最新情報や詳細は、FUNAI製品情報サイトの「接続確認済み機器」ページ（funai.jp/cs/device/）でご確認ください。 |
| | • 登録設定したUSBハードディスクが、録画用USB端子※に接続していない可能性があります。接続を確認してください。P. 26<br>※ F340シリーズ USB 1（HDD録画）端子<br>F140シリーズ USB（録画用）端子 |

## 録画

| 表示されるメッセージ　（例） | メッセージの意味と対応のしかた |
|---|---|
| 録画容量不足により、録画を中止しました。 | • USBハードディスクの残量がなくなったため、録画を中断しました。 |
| 録画時間が15時間をこえたため、録画を停止しました。 | • USBハードディスクへの連続録画時間が15時間になったため、録画を停止しました。 |
| | • USBハードディスクへの1番組あたりの連続録画可能時間は最大15時間です。 |

## 予約

| 表示されるメッセージ　（例） | メッセージの意味と対応のしかた |
|---|---|
| USBハードディスクの録画容量が不足しています。 | • USBハードディスクの残量が不足しています。<br>➡ 選択ボタン ● を押してメッセージを消したあと、録画するメディアの残量を確認してください。P. 45 |
| 予約登録数がいっぱいのため予約登録できません。 | • 予約登録数が上限の200に達したので、不要な予約を消去してください。P. 41 |

# 著作権などについて

## ▷ 商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴ R」、「UD新丸ゴ R」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
© 2021 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

Dolby Audio

- Amazon、Fire、Prime Video及びこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc. 又はその関連会社の商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

## ▷ ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ船井電機または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Player を搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

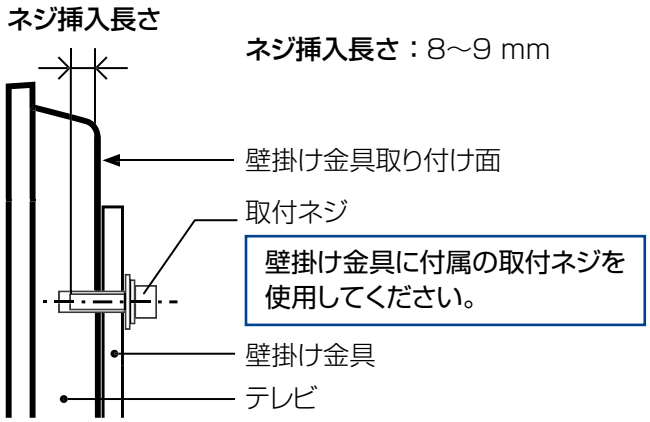
詳細については ➡ 画面の アイコン ➡ **[デバイスとソフトウェア]** ➡ **[規約等]** ➡ **[法律に関する通知]** でご確認いただけます。

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

# 壁掛け金具取り付け時について

## 壁掛け金具（市販品）取り付け時の注意

- **壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。**
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全の場合は、けがの原因となります。
- 壁掛け金具（市販品）を取り付ける際は、壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛け金具に付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛け金具取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定しています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前に必ずご確認ください。




取り付け部断面図の一例

### ⚠注意

**壁掛け金具取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。**

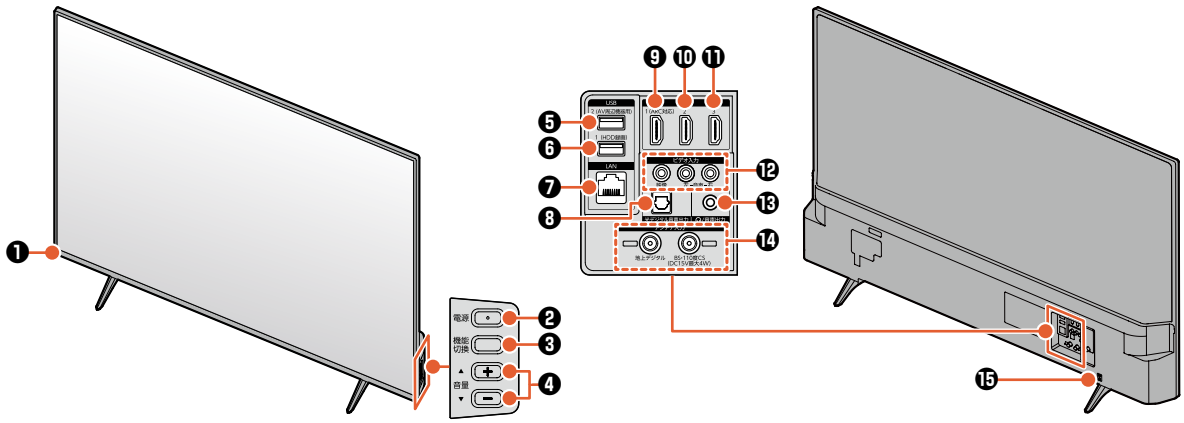
ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。

※本機で推奨される壁掛け金具については、FUNAI製品情報サイトの「壁掛け金具」ページ（funai.jp/cs/wall-mount/）でご確認ください。

# Name and function of each part

## Front view/side view/rear view

### F340 series




❶ **Power-on indicator/remote control infrared sensor window**
Glowing blue.....The TV is on.
Off.....The TV is in standby mode.

❷ **Power（電源）**

❸ **Function（機能切換）**
Displays the function switching menu (input/volume/channel).
This button works as "OK" while the menu is displayed.

❹ **Volume（音量）**
Adjusts the volume.
Press to move between items while the function switching menu is displayed.

❺ **USB port 2 (for AV device connection)**
Connect a USB flash drive, etc.

❻ **USB port 1 (for HDD recording)**
Connect an external USB-HDD.

❼ **LAN port**

❽ **Optical digital audio output port**

❾ **HDMI port 1 (ARC compatible)**

❿ **HDMI port 2**

⓫ **HDMI port 3**

⓬ **Video/Audio inputs**

⓭ **Stereo headphone jack**

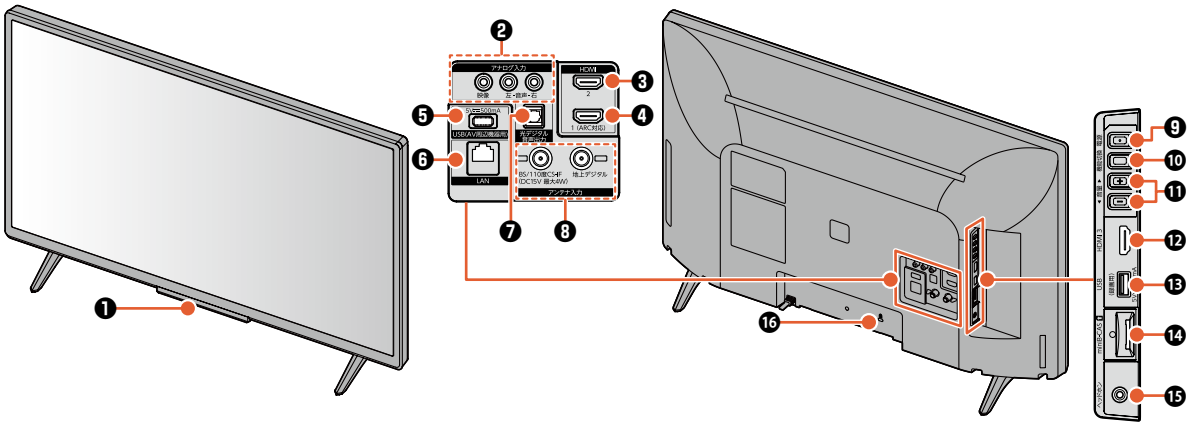
⓮ **Terrestrial digital broadcasting/BS/CS antenna inputs**
(Left) Terrestrial digital broadcasting input
(Right) BS/CS input (4K satellite broadcasting compatible)

⓯ **Slot for antitheft device**
Attach a secuity wire, etc.

**Note(s)**

- When turning off the TV by pressing the power button, the TV will be placed in standby mode. While in standby mode, the circuits for the minimum system functions (the digital tuner, etc.) are still kept energized.
- If the TV becomes inoperable on Digital broadcasting, due to poor reception, unplug the AC cord and plug it back in after a few minutes.
- Picture distortion may occur during special playback (fast forward, pause, etc.).

## F140 series




❶ **Power-on indicator/remote control infrared sensor window**
Glowing blue.....The TV is on.
Off.....The TV is in standby mode.

❷ **Analog inputs**

❸ **HDMI port 2**

❹ **HDMI port 1 (ARC compatible)**

❺ **USB port (for AV device connection)**
Connect a USB flash drive, etc.

❻ **LAN port**

❼ **Optical digital audio output port**

❽ **Terrestrial digital broadcasting/BS/CS antenna inputs**
(Left) BS/CS input
(Right) Terrestrial digital broadcasting input

❾ **Power (電源)**

❿ **Function(機能切換)**
Displays the function switching menu (input/volume/channel).
This button works as "OK" while the menu is displayed.

⓫ **Volume (音量)**
Adjusts the volume.
Press to move between items while the function switching menu is displayed.

⓬ **HDMI port 3**

⓭ **USB port (for recording)**
Connect an external USB-HDD.

⓮ **Slot for miniB-CAS card**
Insert the included miniB-CAS card.

⓯ **Stereo headphone jack**

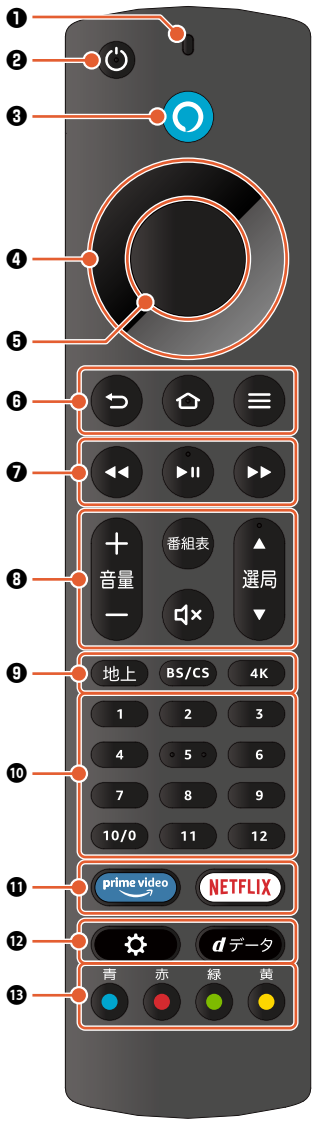
⓰ **Slot for antitheft device**
Attach a secuity wire, etc.

**Caution**

- AC cord must be unplugged when making connections.
- When connecting the video/audio cable, the color of the cable end and the input on the TV must match.
- **Video**: Yellow, **Audio-Left**: White, **Audio-Right**: Red
- Plug in the cables firmly. Failure to do so may cause noise and/or distortion.
- Grab the AC plug when unplugging. Do not pull the AC cord.
- If connected devices are placed too close to the TV, noise and/or distortion may occur. Keep devices far enough to not interfere with each other.
- Depending on the connecting device, connection methods may differ. Also check the instruction manual of the connecting device.
- Recorded pictures and sound are only allowed for private use, and are prohibited from use without permission of the rights holder for copyright reasons.
- Do not connect any devices other than USB hard disk for recording, AV device (such as USB memory), USB keyboard, or USB mouse, to the USB ports. The USB mouse or keyboard may not work depending on the application.

# Remote control

## F340 series




❶ **Microphone**
Recognizes voice.

❷ **Power**
Turns on/off.

❸ **Voice search button**
Speak to Alexa to search/playback content by voice.

❹ **Navigation**
To move up, down, left, and right

❺ **Select**
To select an item, function, or category

❻ **Back**
To go back to the previous screen

**Home**
To call up various functions

**Menu**
Various settings can be modified for the currently viewed screen.

❼ **Fast reverse**

**Playback/pause**

**Fast forward**
Used while viewing a recorded program

❽ **Volume (音量)**
Adjusts the volume.

**EPG (番組表)**
Displays the Electronic Program Guide for Terrestrial digital broadcasting, BS digital, CS digital, BS 4K, and CS 4K.

**Mute**
Mutes the sound. Press again to unmute.

**Channel(選局)**
Switches channels up and down within the broadcasting type of currently being viewed.

❾ **Terrestrial digital broadcasting (地上)**
Switches to Terrestrial digital broadcasting.

**BS/CS**
Each press of the button toggles between BS and CS broadcasting.

**4K**
Each press of the button toggles between BS 4K and CS 4K broadcasting.

❿ **Numeric buttons**
To directly select a channel

⓫ **App buttons**
To directly access each video streaming service

⓬ **Settings**
Displays the Quick-setting screen.

**d-data (dデータ)**
Digital broadcasting includes TV broadcasting, BS radio broadcasting, and Data broadcasting. Various kinds of information can be obtained by button operation while viewing the broadcasting.

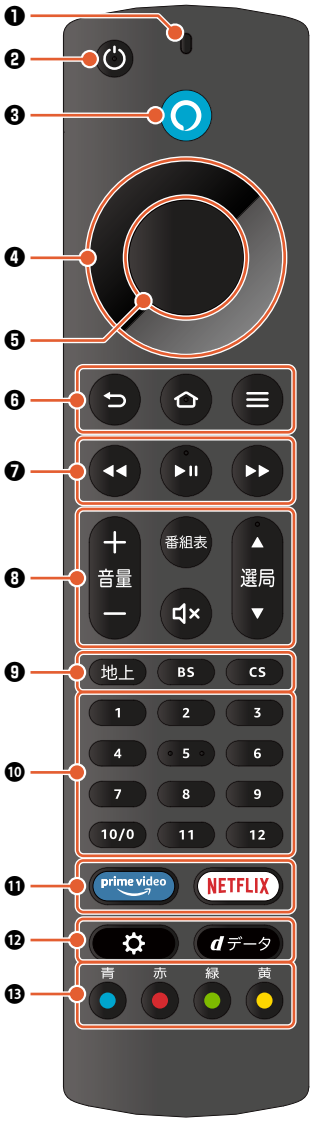
⓭ **Color buttons(青／赤／緑／黄)**
Used while viewing Data broadcasting, or while the EPG or recording list is displayed

### ▷ Remote control operable ranges (infrared ray)

When using the remote control, direct it to the infrared sensor window of the TV.
Distance.....Within 5 m from the front of the TV
Angle.....Within 15°up or down and within 30°left or right from the front of the TV
Remote control operable ranges will differ when the remote control is connected via Bluetooth®.

Note(s)
- Other than ⏻, ⌂ and the video streaming service buttons can also be used to turn on the TV.

## F140 series




❶ **Microphone**
Recognizes voice.

❷ **Power**
Turns on/off.

❸ **Voice search button**
Speak to Alexa to search/playback content by voice.

❹ **Navigation**
To move up, down, left, and right

❺ **Select**
To select an item, function, or category

❻ **Back**
To go back to the previous screen

**Home**
To call up various functions

**Menu**
Various settings can be modified for the currently viewed screen.

❼ **Fast reverse**

**Playback/pause**

**Fast forward**
Used while viewing a recorded program

❽ **Volume (音量)**
Adjusts the volume.

**EPG (番組表)**
Displays the Electronic Program Guide for Terrestrial digital broadcasting, BS digital, CS digital.

**Mute**
Mutes the sound. Press again to unmute.

**Channel(選局)**
Switches channels up and down within the broadcasting type of currently being viewed.

❾ **Terrestrial digital broadcasting (地上)**
Switches to Terrestrial digital broadcasting.

**BS**
Switches to BS broadcasting.

**CS**
Switches to CS broadcasting.

❿ **Numeric buttons**
To directly select a channel

⓫ **App buttons**
To directly access each video streaming service

⓬ **Settings**
Displays the Quick-setting screen.

**d-data (dデータ)**
Digital broadcasting includes TV broadcasting, BS radio broadcasting, and Data broadcasting. Various kinds of information can be obtained by button operation while viewing the broadcasting.

⓭ **Color buttons(青／赤／緑／黄)**
Used while viewing Data broadcasting, or while the EPG or recording list is displayed

**Caution**

- The remote control needs to be paired with the TV via Bluetooth® to enable voice recognition using the microphone.
- When inserting a dry-cell battery, confirm the " + / – ", and insert it from the " – " side first.
- The remote control is inoperable if the batteries are weak, or the " + / –" are reversed.
- The remote control of the TV is not compatible with TVs made by other manufacturers or our TV models.
- Remote controls are precision instruments. Please handle with care. When pressing a button, press it down vertically and lightly.
- Remote operation may become unreliable if strong light is shining on the infrared sensor window of the TV.
- While a screen-display for an operation is on the screen, the corresponding buttons for the operation are available. If performing a second action, do it after the current screen-display disappears from the screen.

## 取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、**お買い上げの販売店へ**お問い合わせいただくか、
**FUNAI製品情報サイトの「サポート」ページ**　funai.jp/cs/
をご覧ください。製品の取り扱いに関するお役立ち情報が満載です。

- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、「船井電機 お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。
- 付属品のご購入に関するご相談は、「船井電機 お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

## 船井電機 お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は（通話料：無料）　**0120-055-271**

携帯電話からのご利用は（通話料：有料）　**0570-008-271**

受付時間　9：00～18：00（年末年始を除く）

※時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方はこちらまで　FAX：06-6746-3374

## 愛情点検

- **長年ご使用の製品の点検を！**

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

### このような症状はありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

### ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

**株式会社ヤマダホールディングス**

FUNAI/firetv　4K液晶テレビ／地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ　取扱説明書　型番　FL-55UF340／FL-50UF340／FL-43UF340／FL-32HF140

AEHRAJT-55UL／AEHUAJT-50UX／AEHVAJT-43UB
AEHFAJT-32HB／AEHFEJT-32HB
バージョン：6.3